



母は
悩んでいた

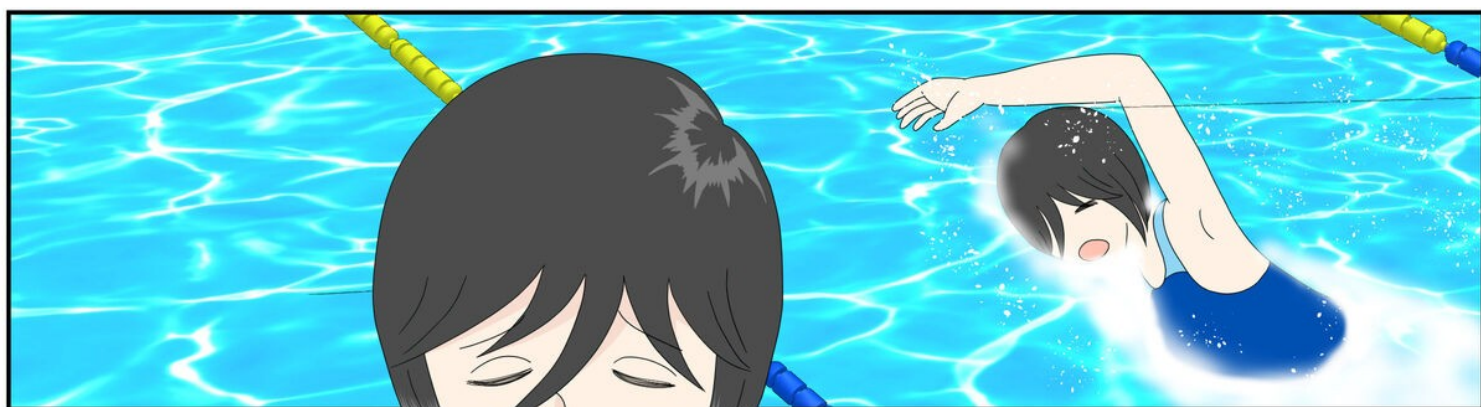
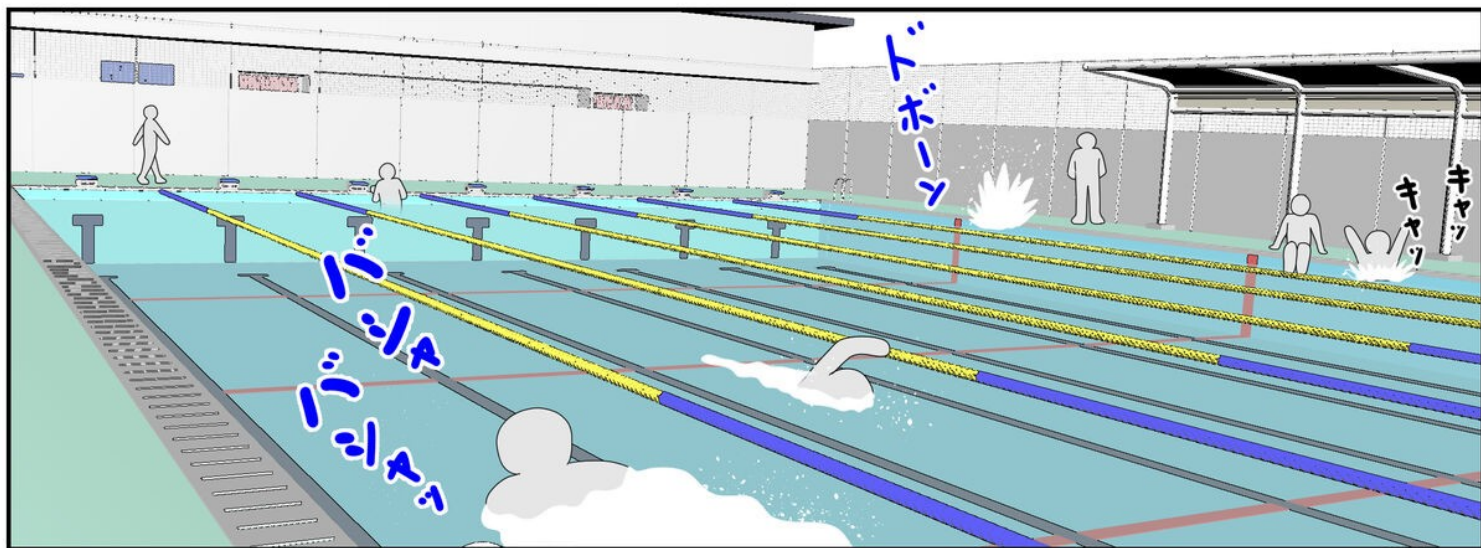
息子・純平との
関係を断ち切れ
ないことに……

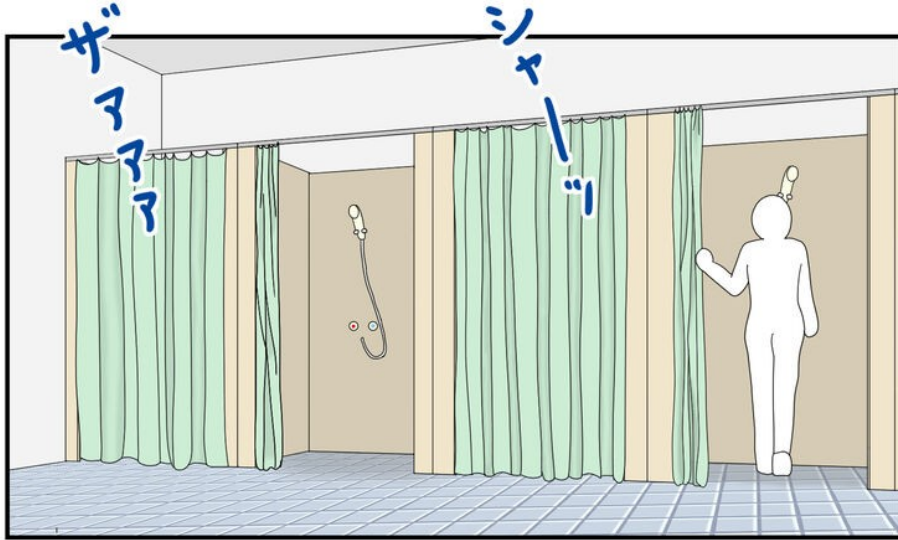
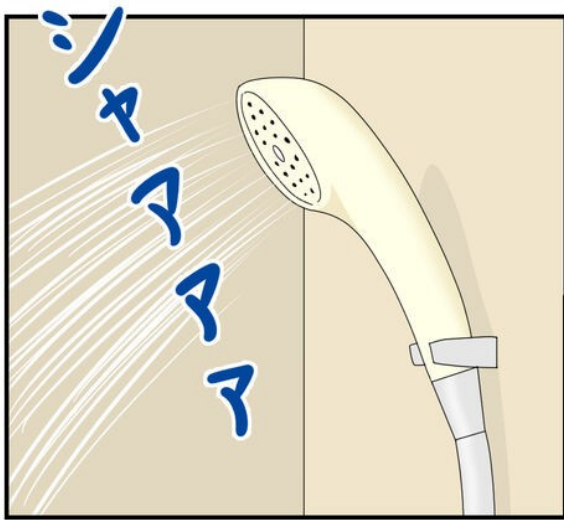
オナネタ 母さん

別世界線

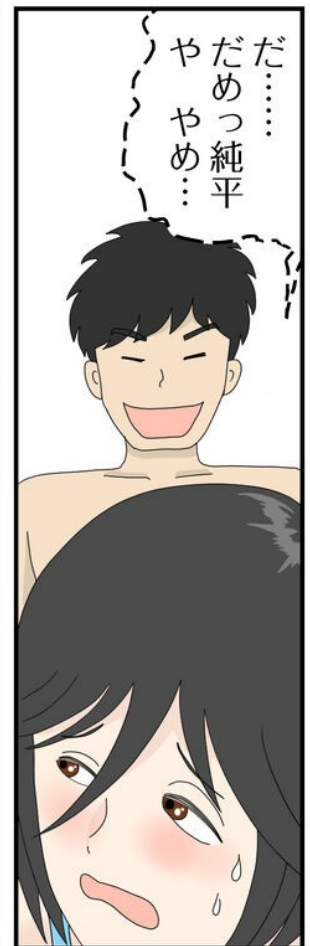
6

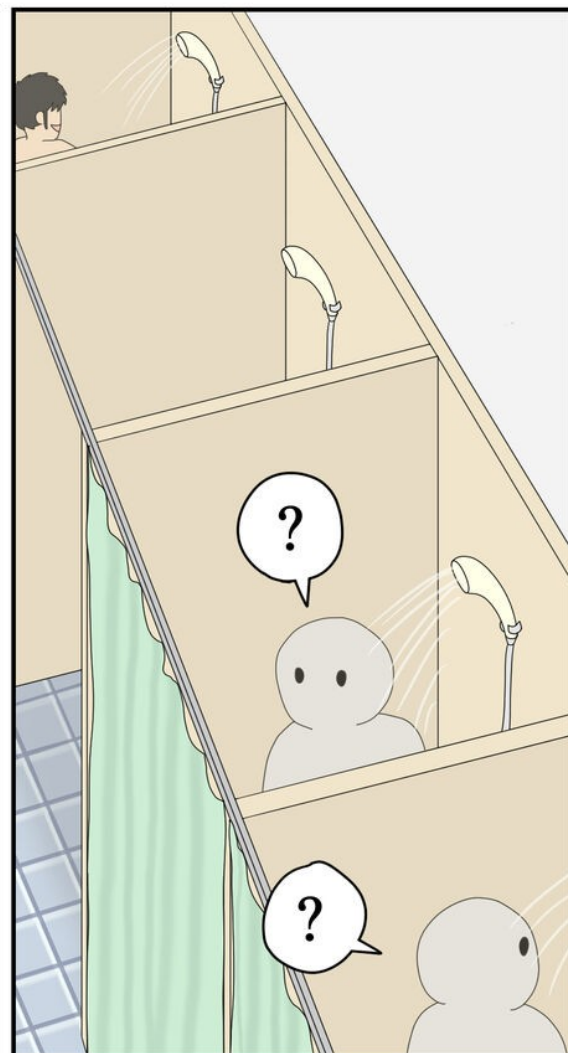
お
墮ちる母

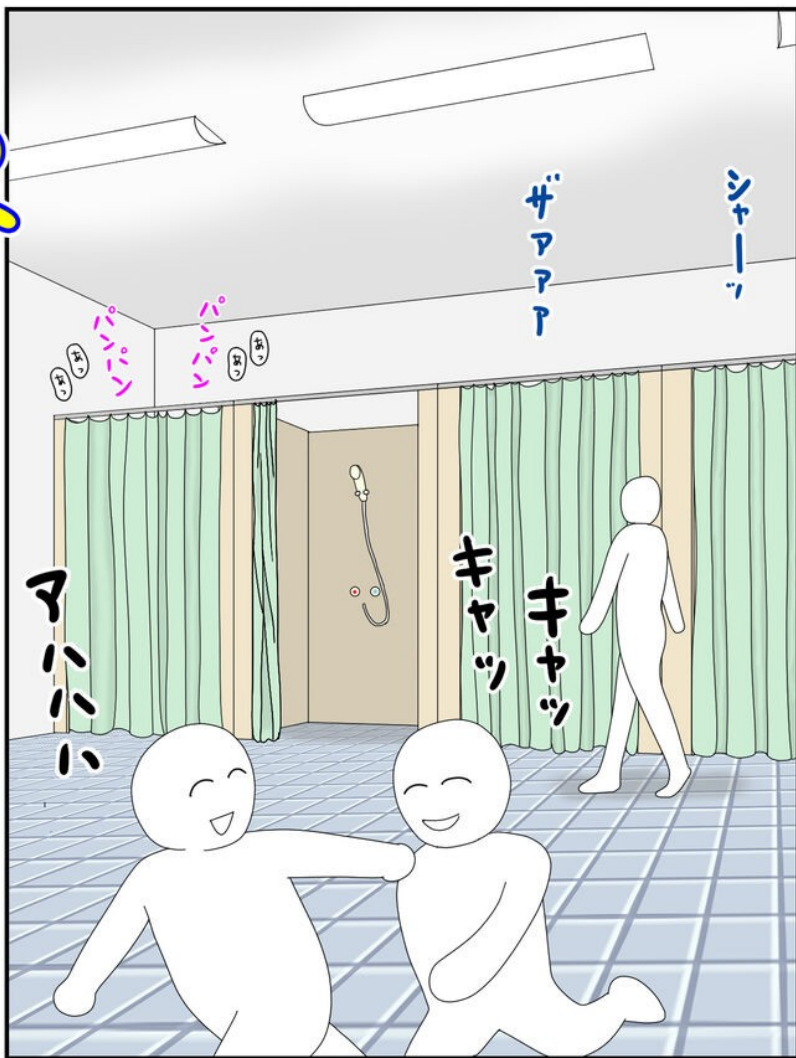
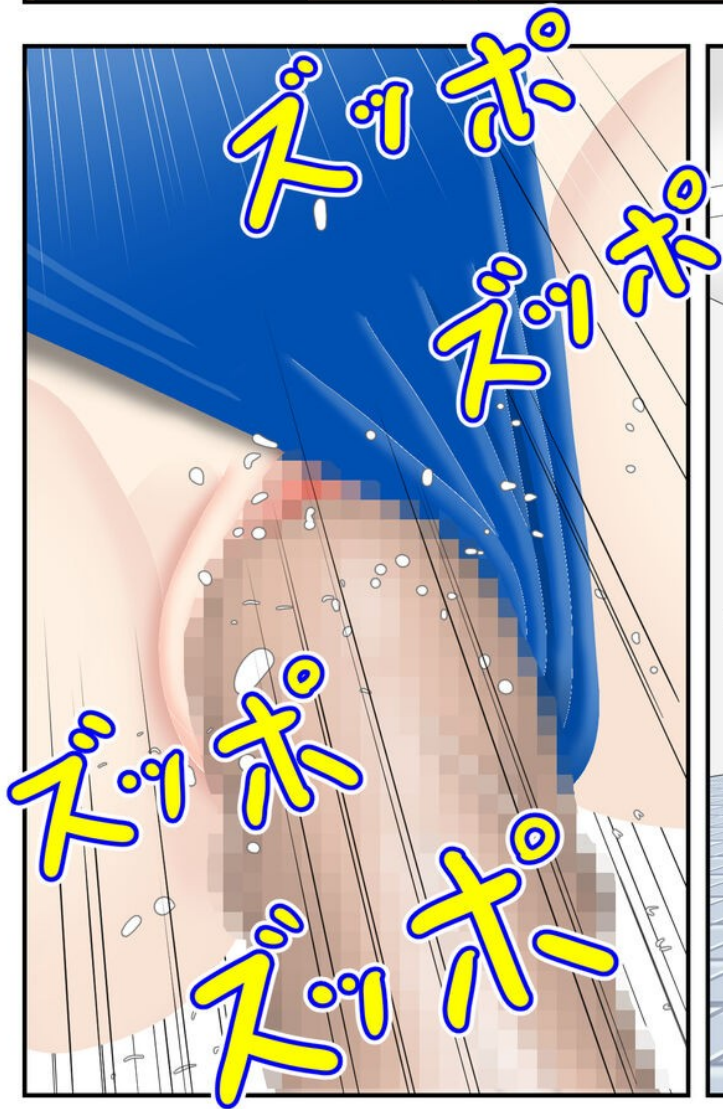
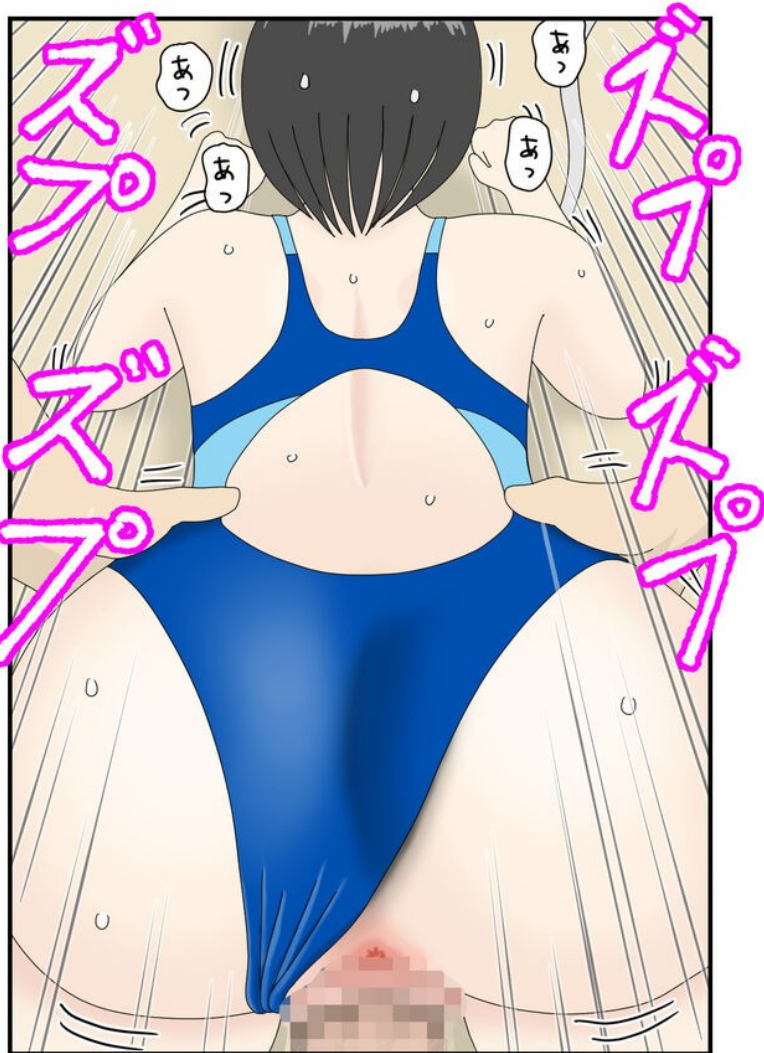
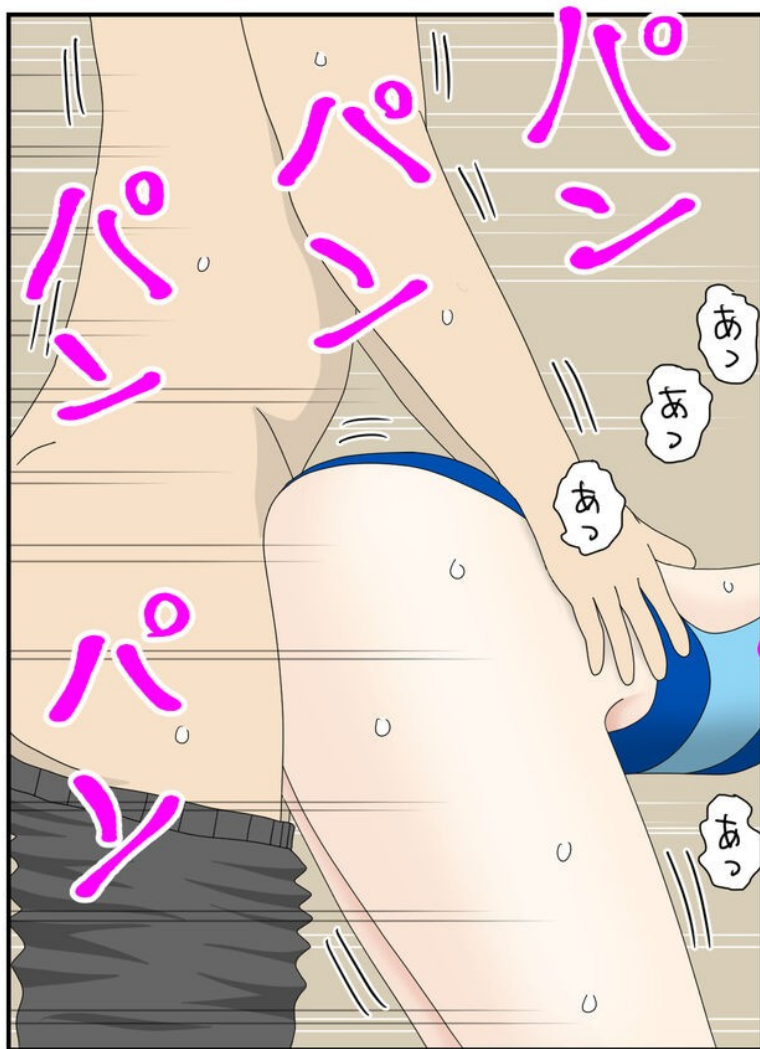


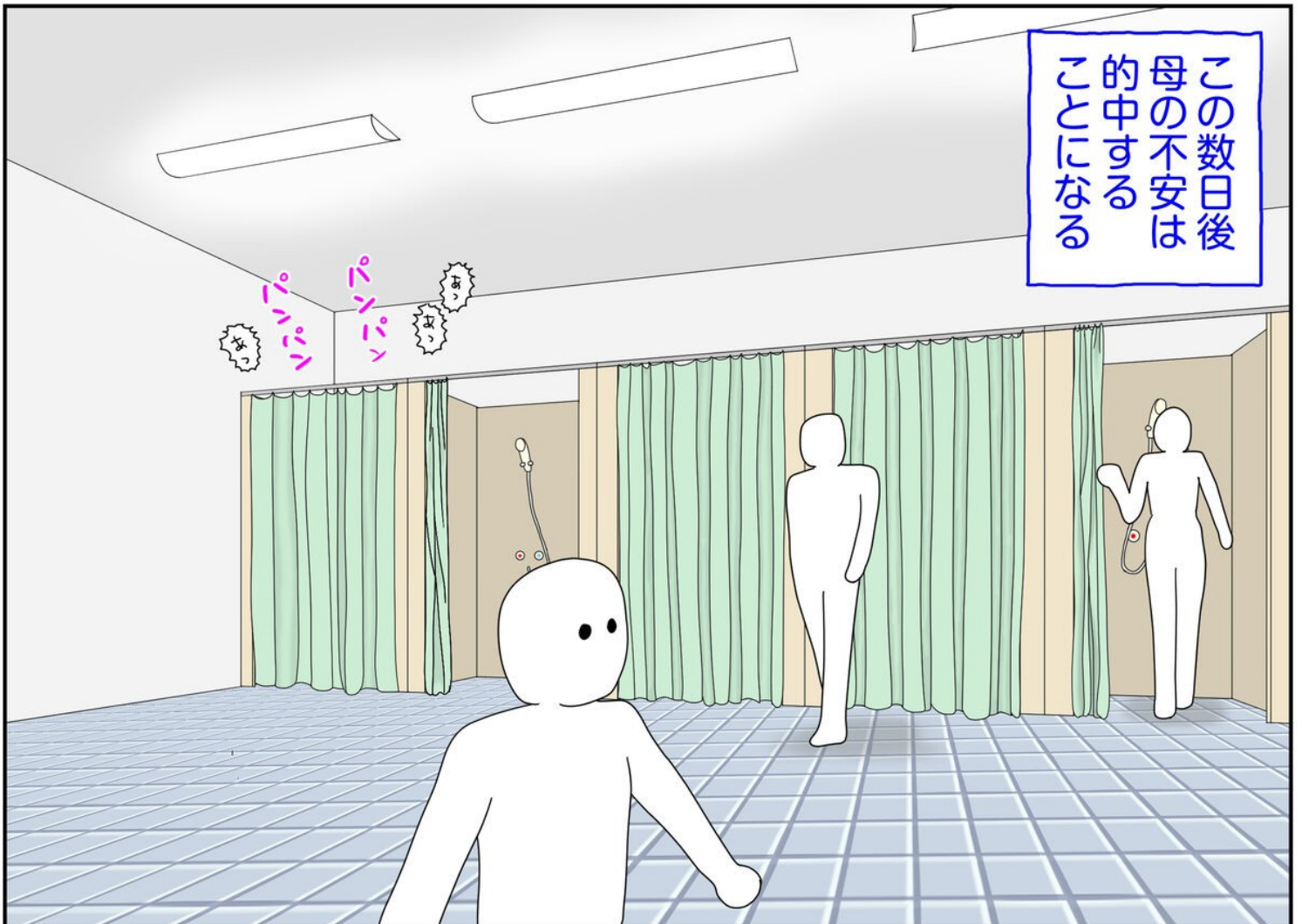
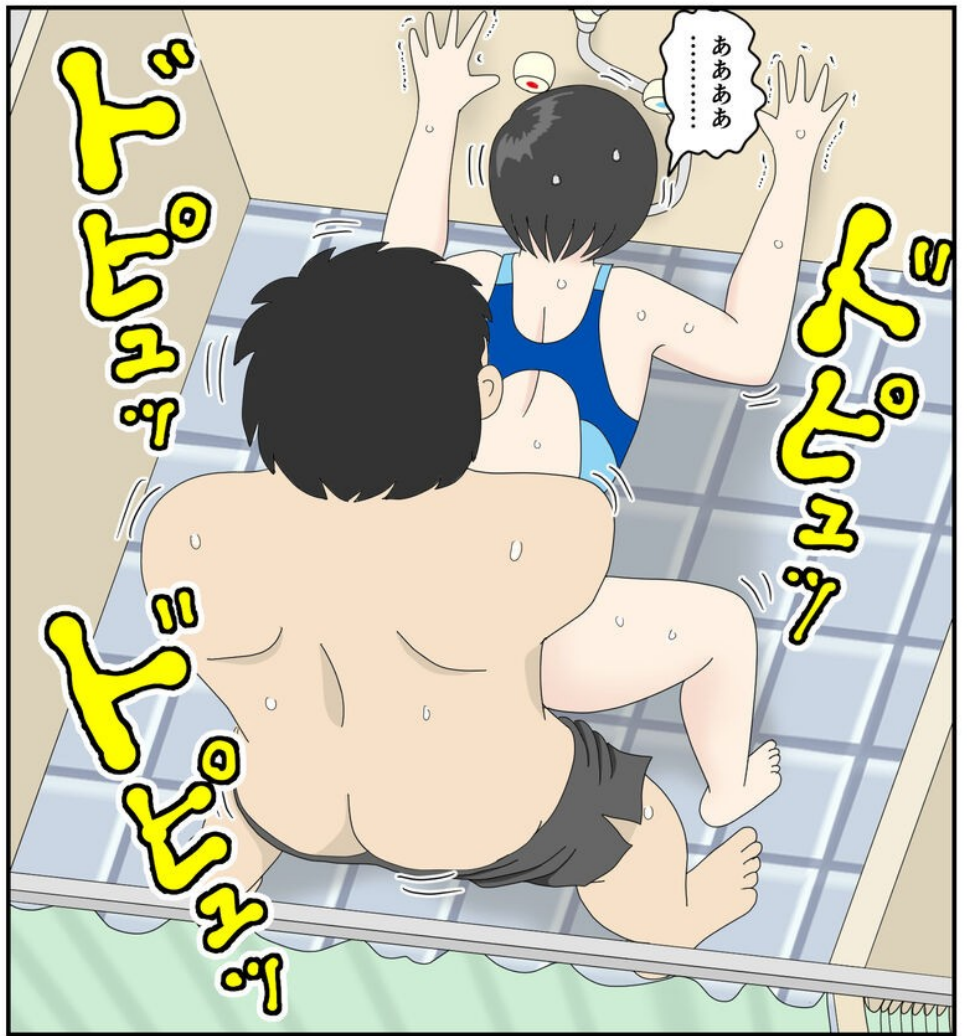










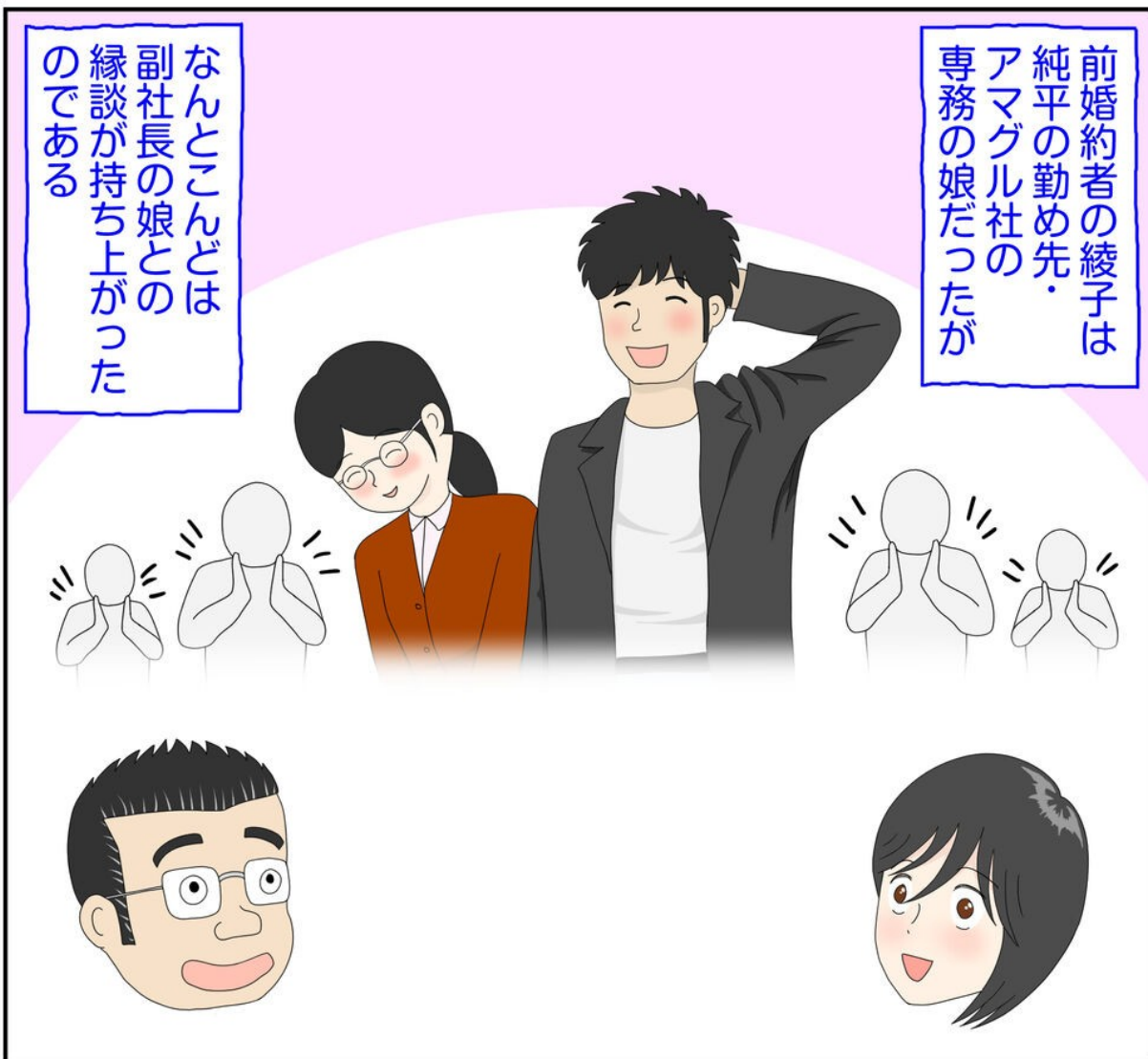




まさに問答無用！
話し合いも
連絡することも
拒否された



純平と綾子の婚約は
綾子の側から
一方的に破棄！

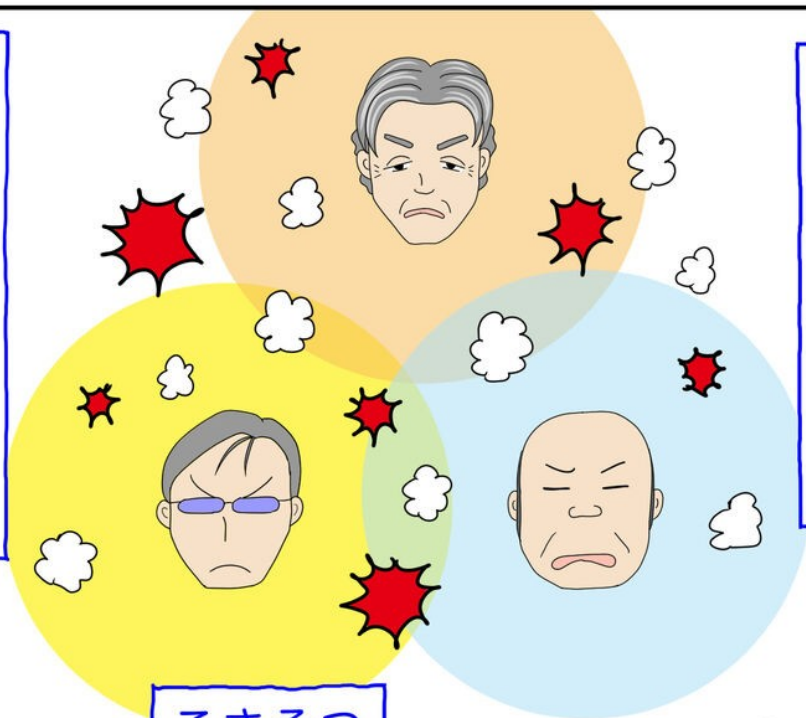


なんとこんどは
副社長の娘との
縁談が持ち上がった
のである

前婚約者の綾子は
純平の勤め先・
アマグル社の
専務の娘だったが

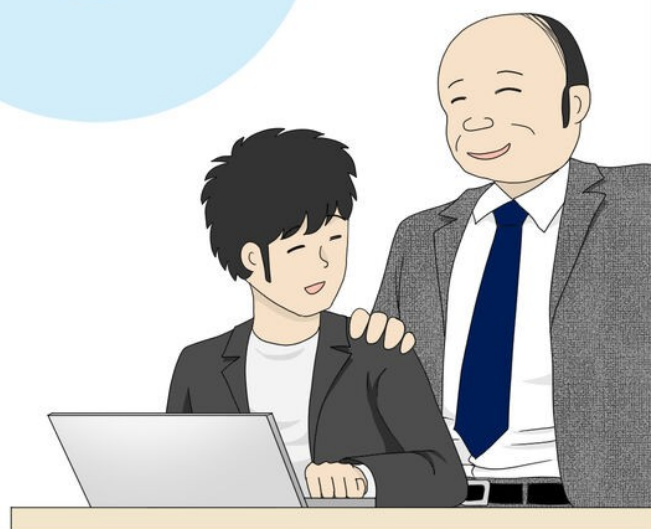
しかし母と純平の
挽回のチャンスは
驚くほど早く
やってきた

実はこれは社内の激しい
派閥争いの産物だった
副社長派が人材として
純平を陣営にとりこもう
としたのである



それと前婚約者・綾子は
母と純平の関係について
親にも誰にも言わなかった
そのため社内で純平の
悪い噂は立っていないかった

つまり純平の能力が
それほど高く評価
されているという
ことでもあった

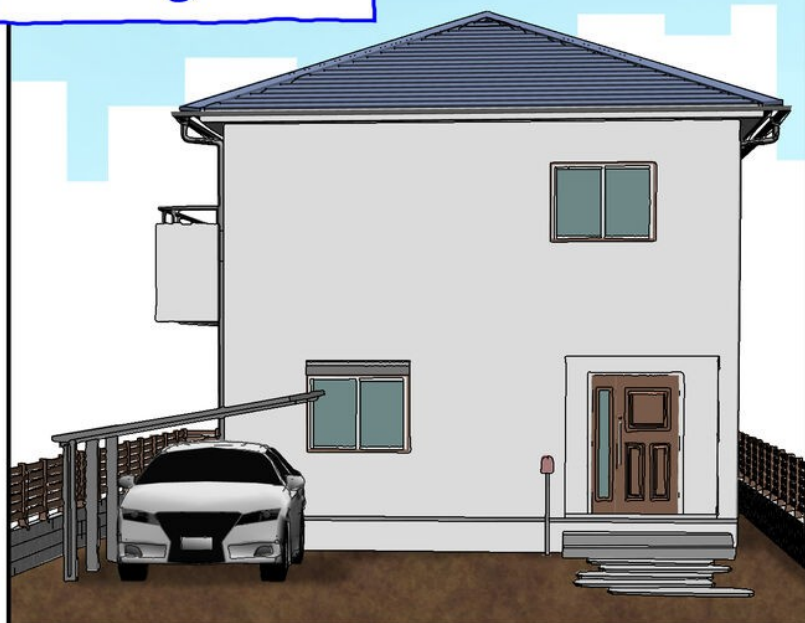


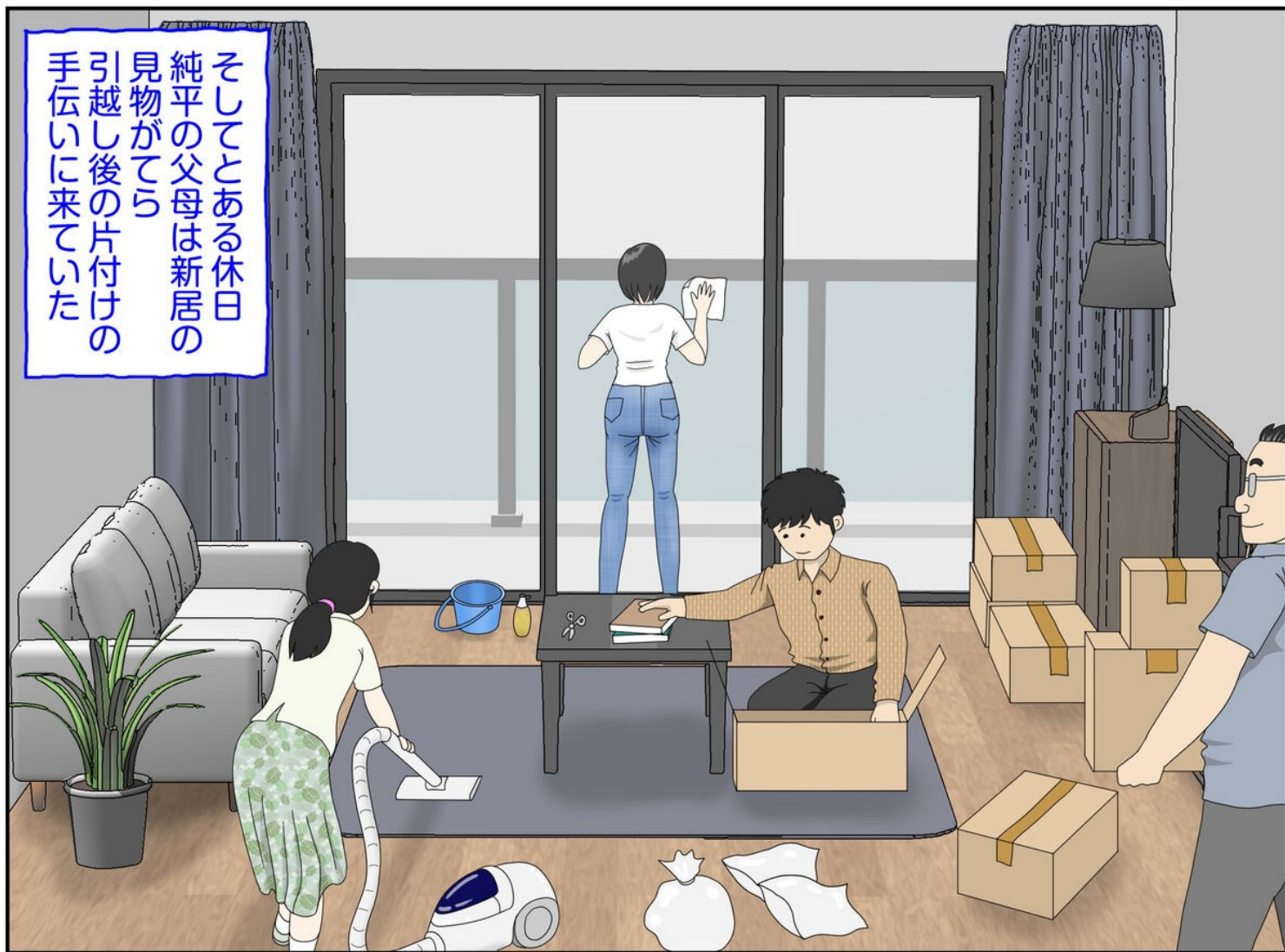
よかった
よかった
本当に
よかった
……

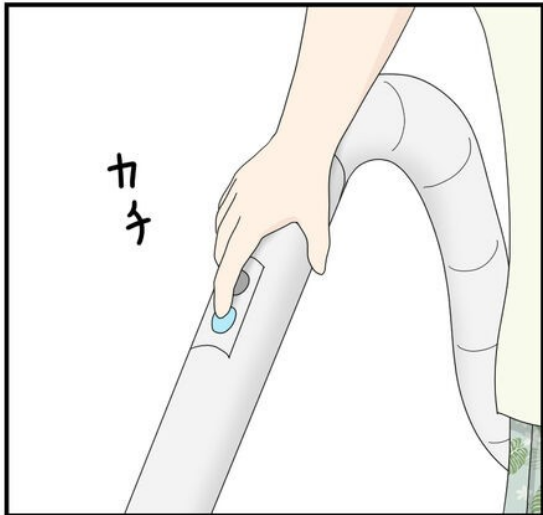
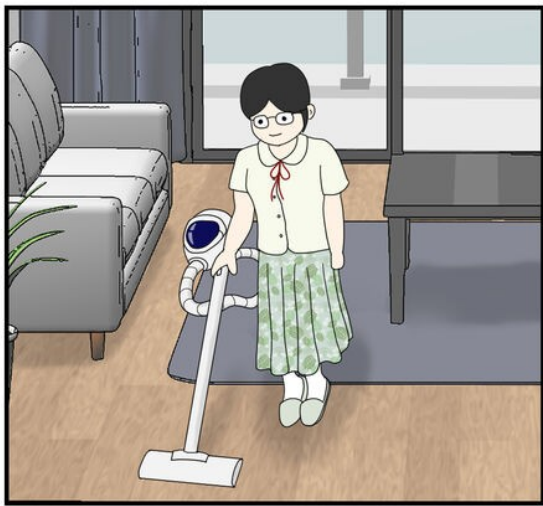


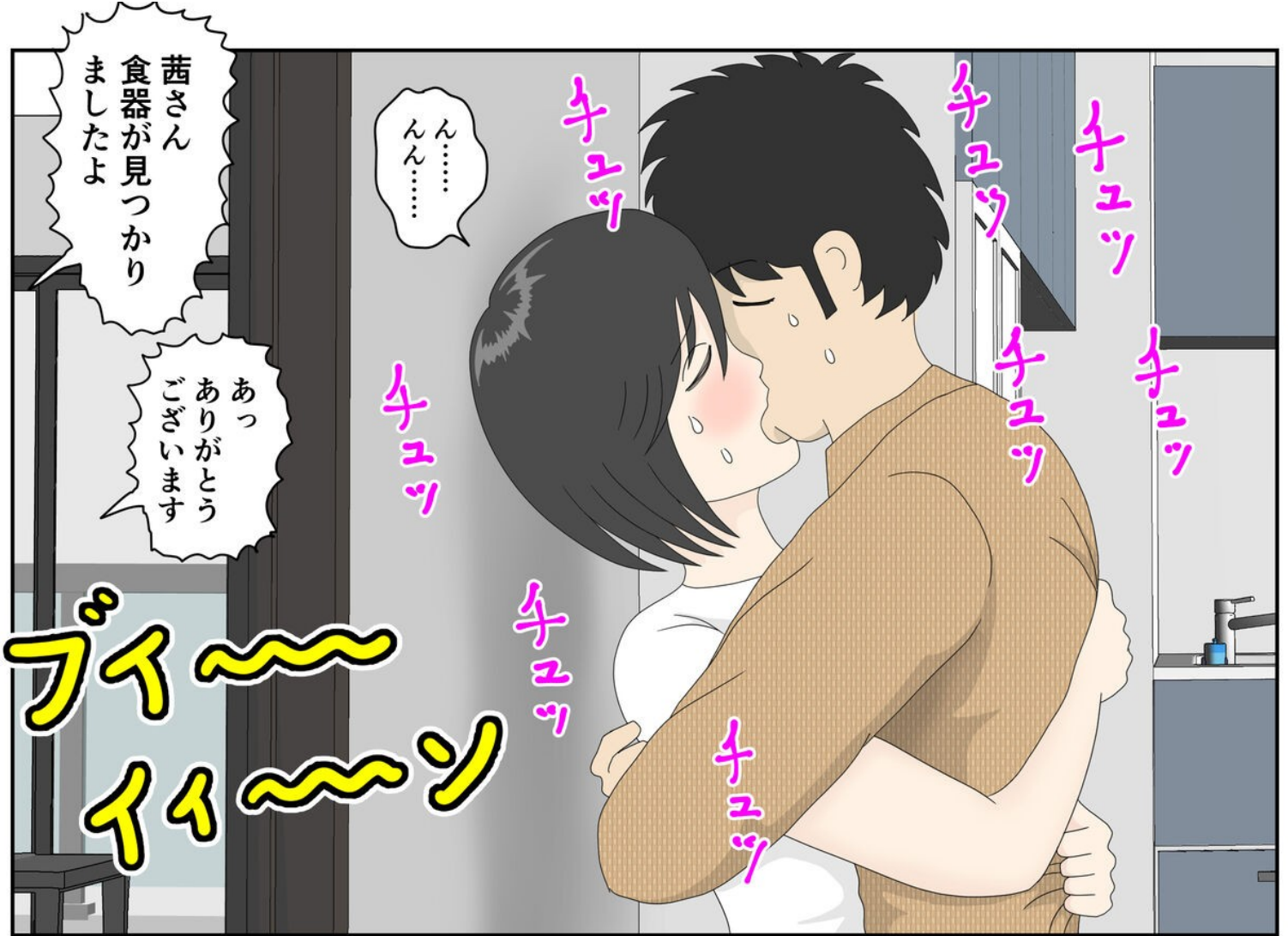
今度こそ……
今度こそ絶対に
純平の結婚の
邪魔をしない！

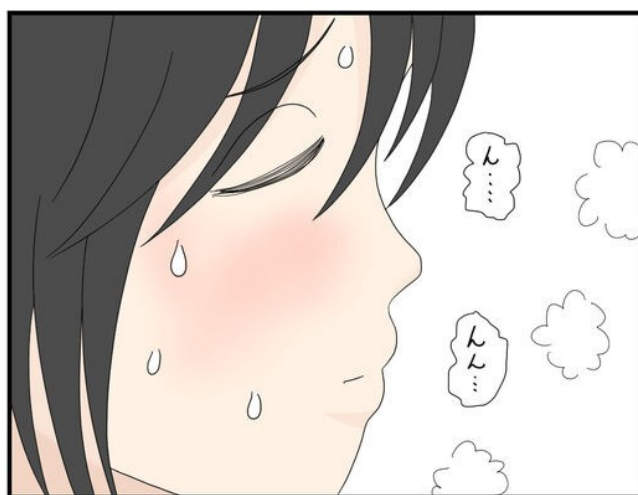
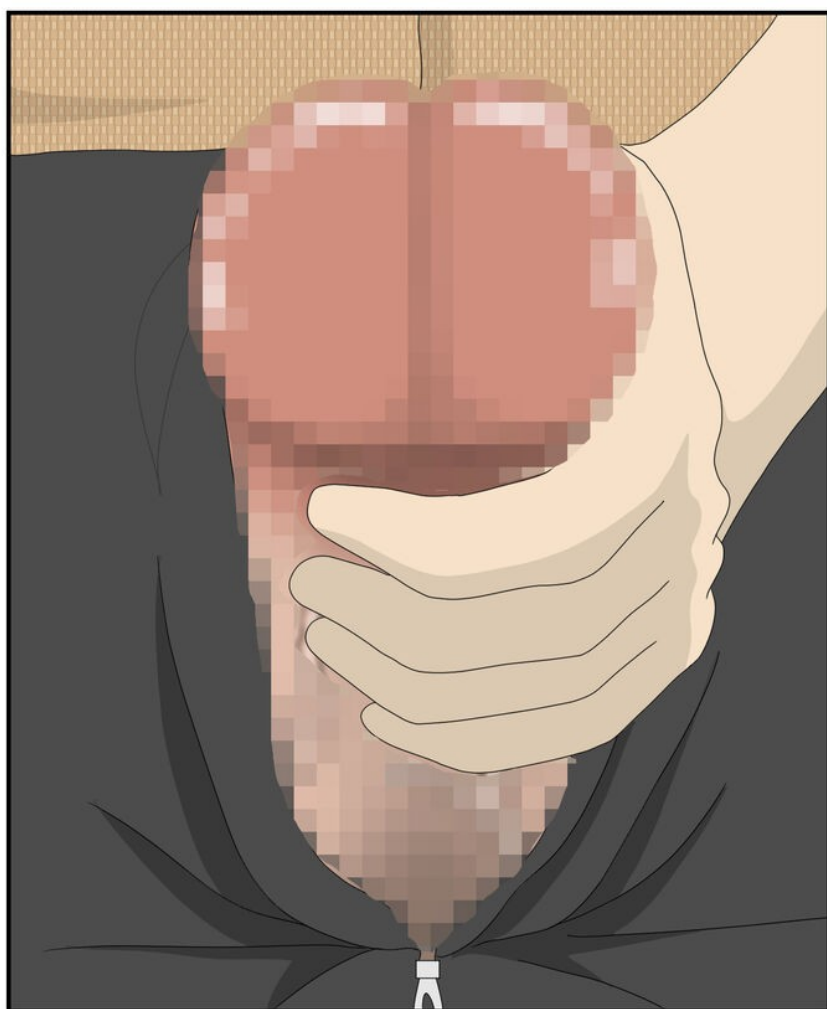
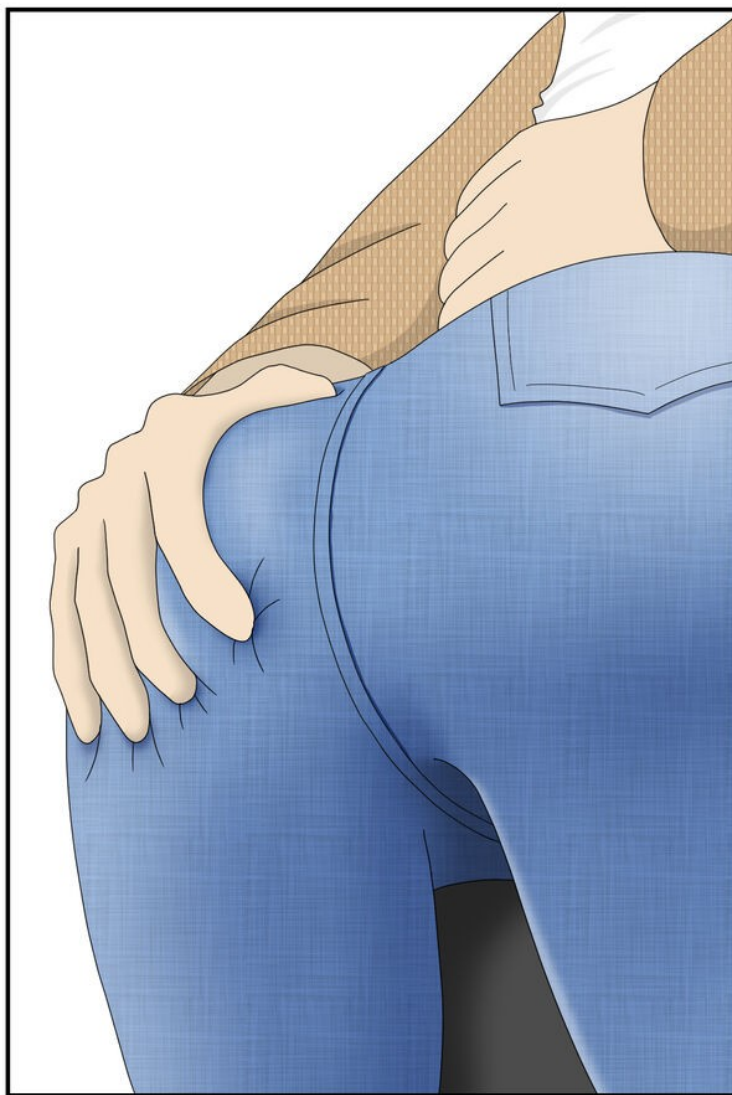
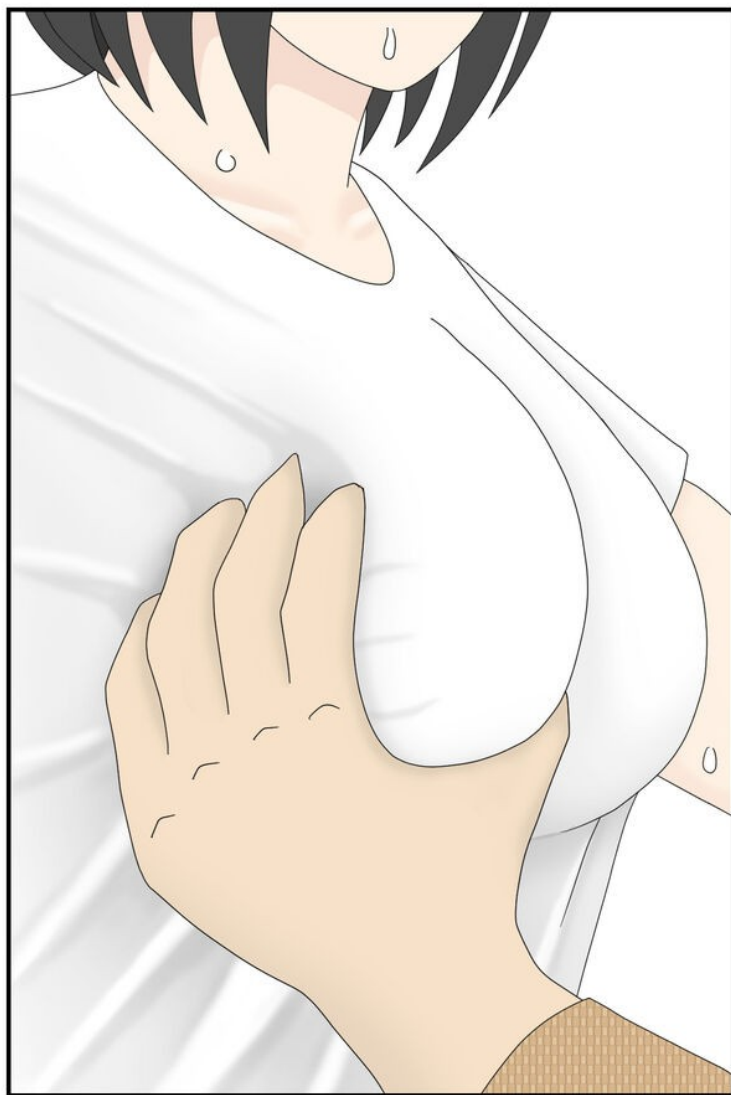
話はとんとん
拍子に進み
新婦側が費用の
ほとんどを負担し
新居を購入
純平と婚約者は
そこに移った

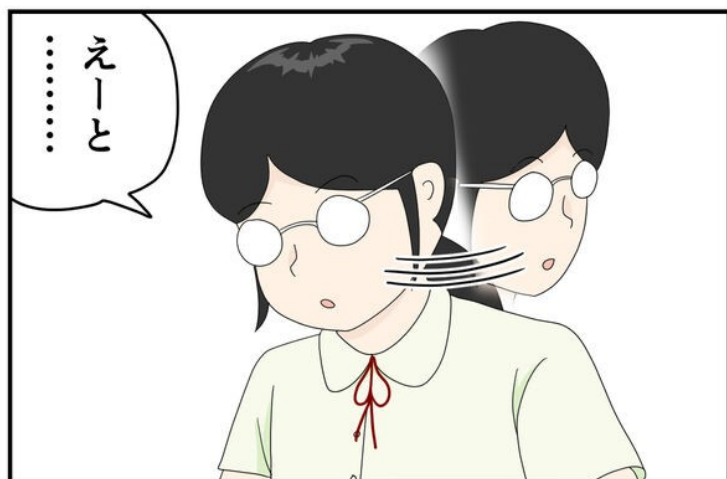
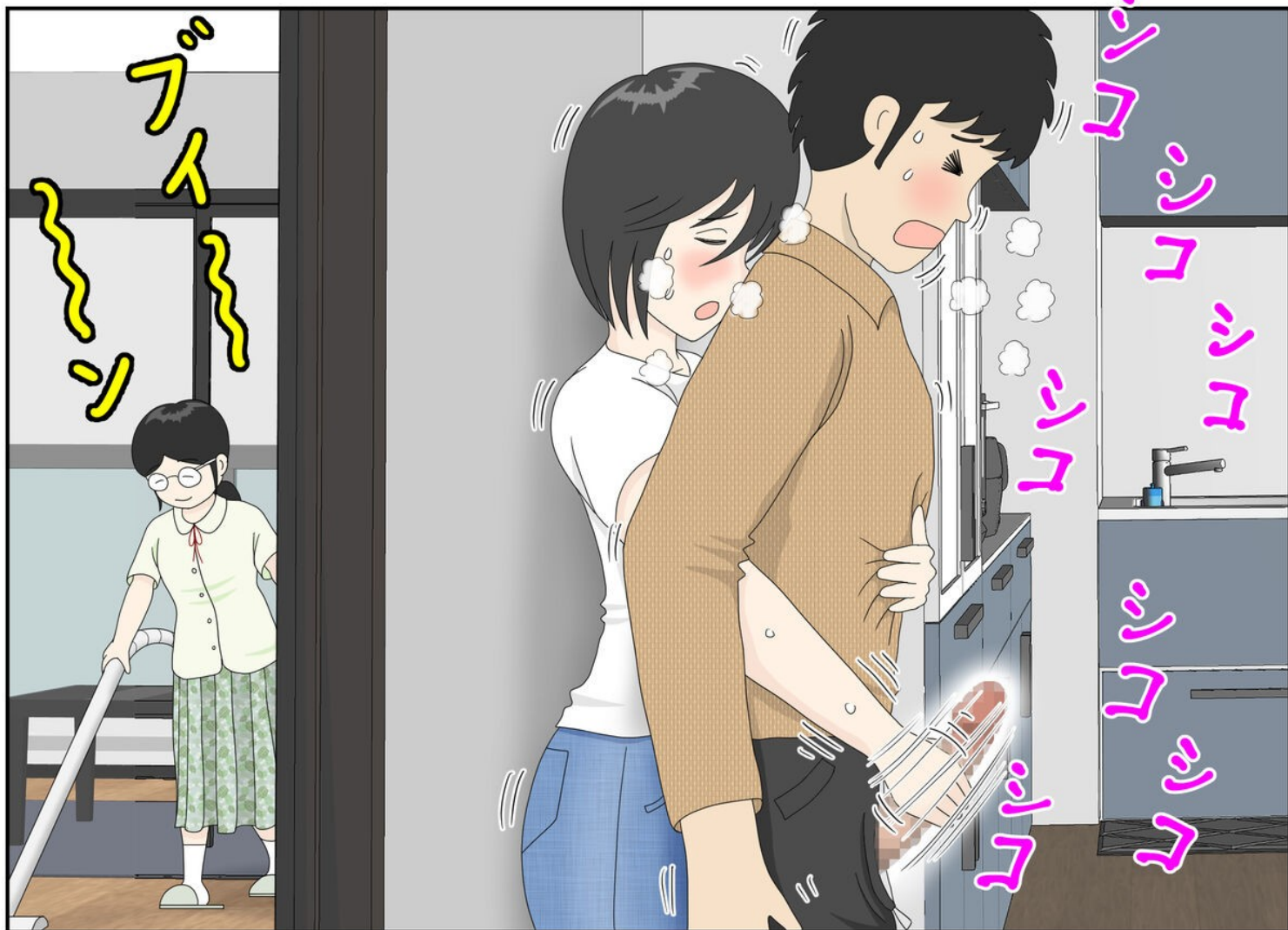


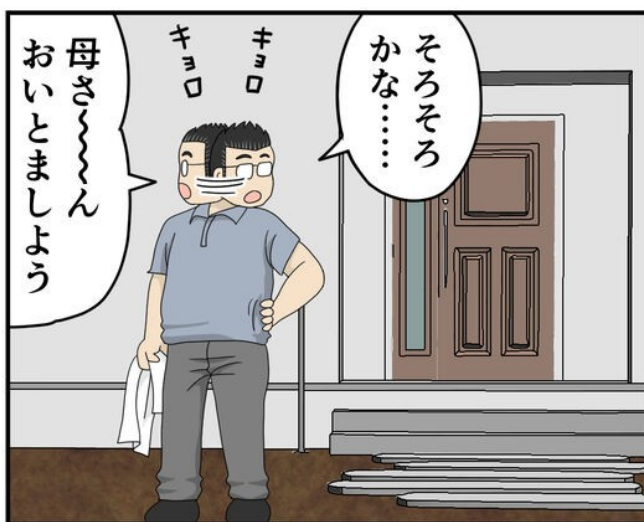
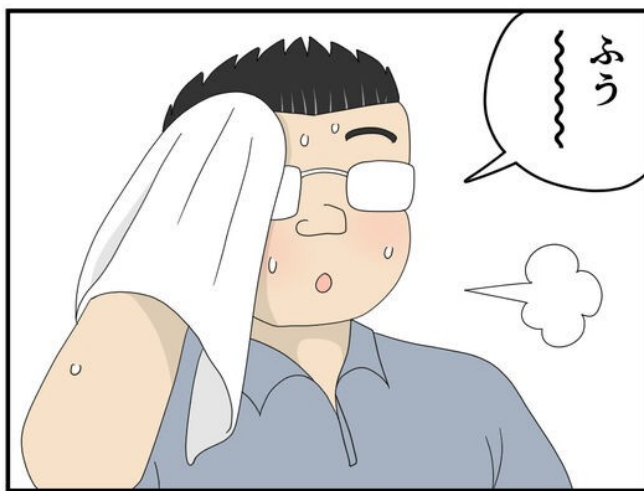


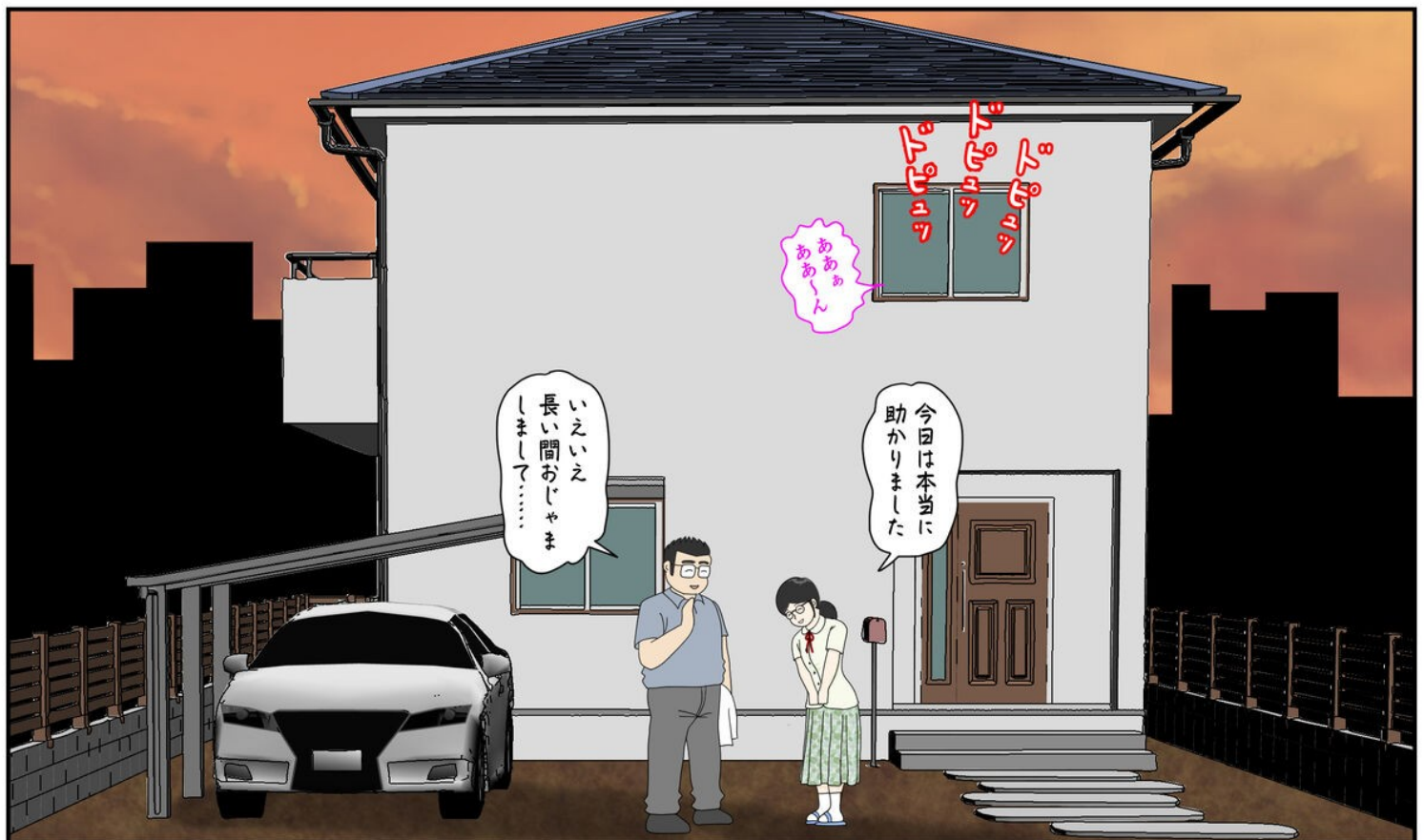
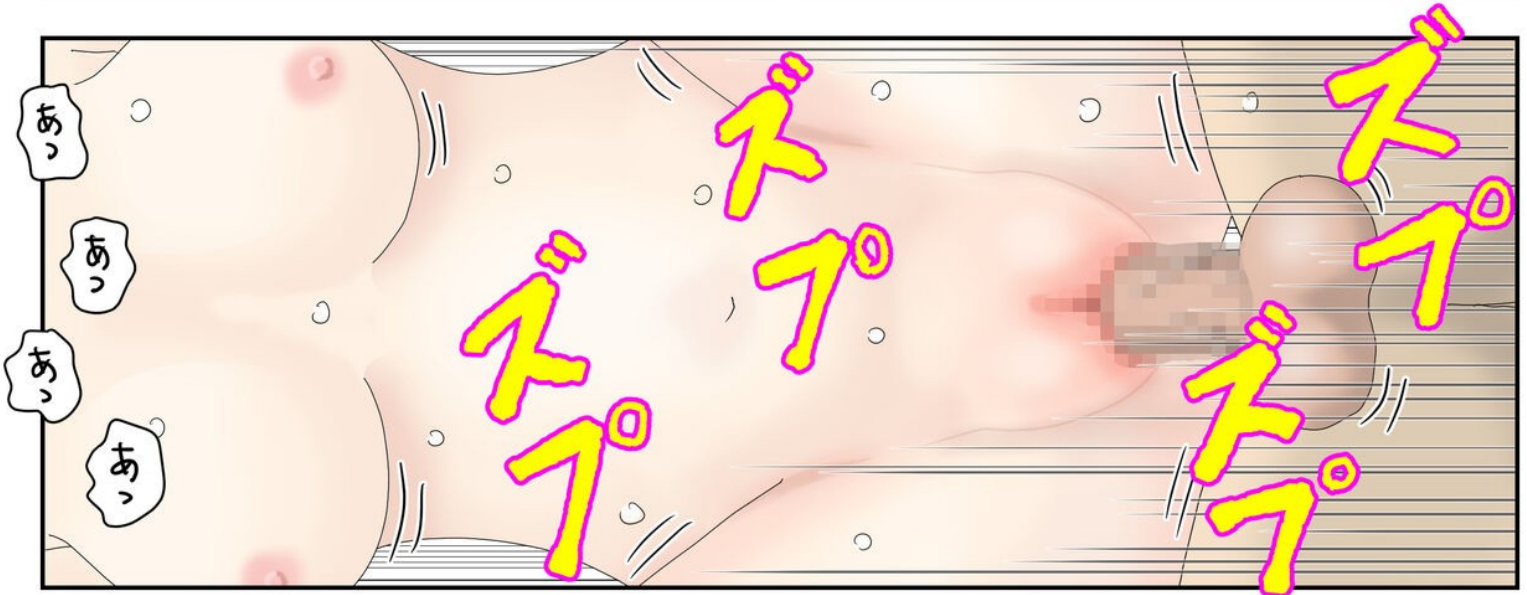


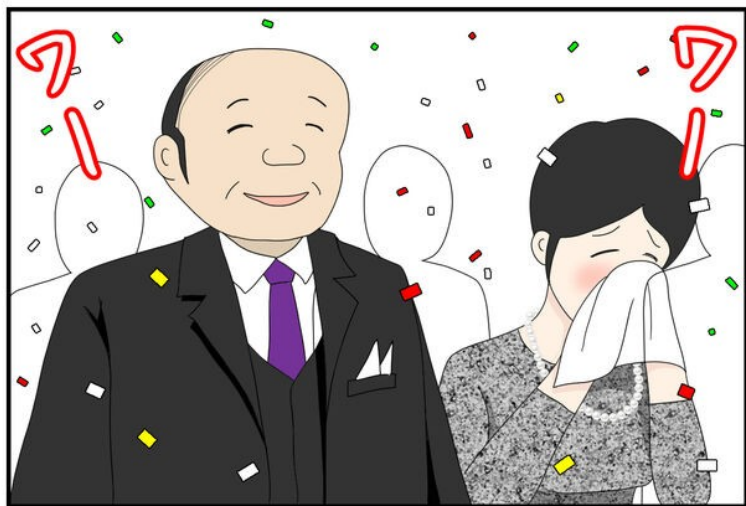


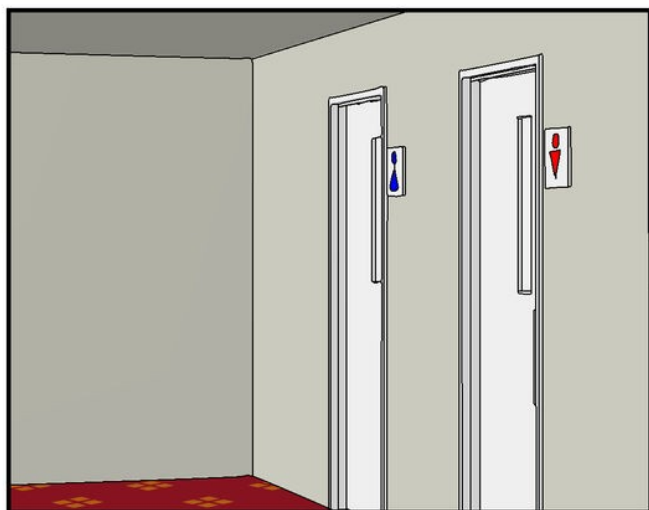
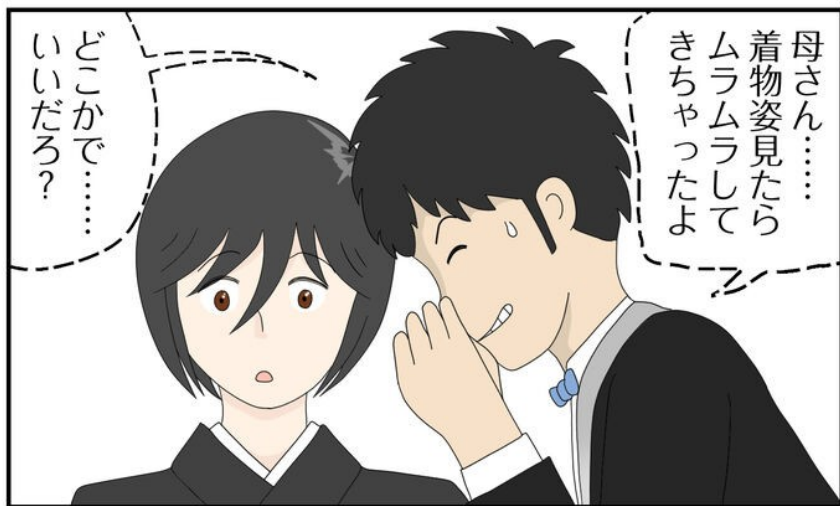
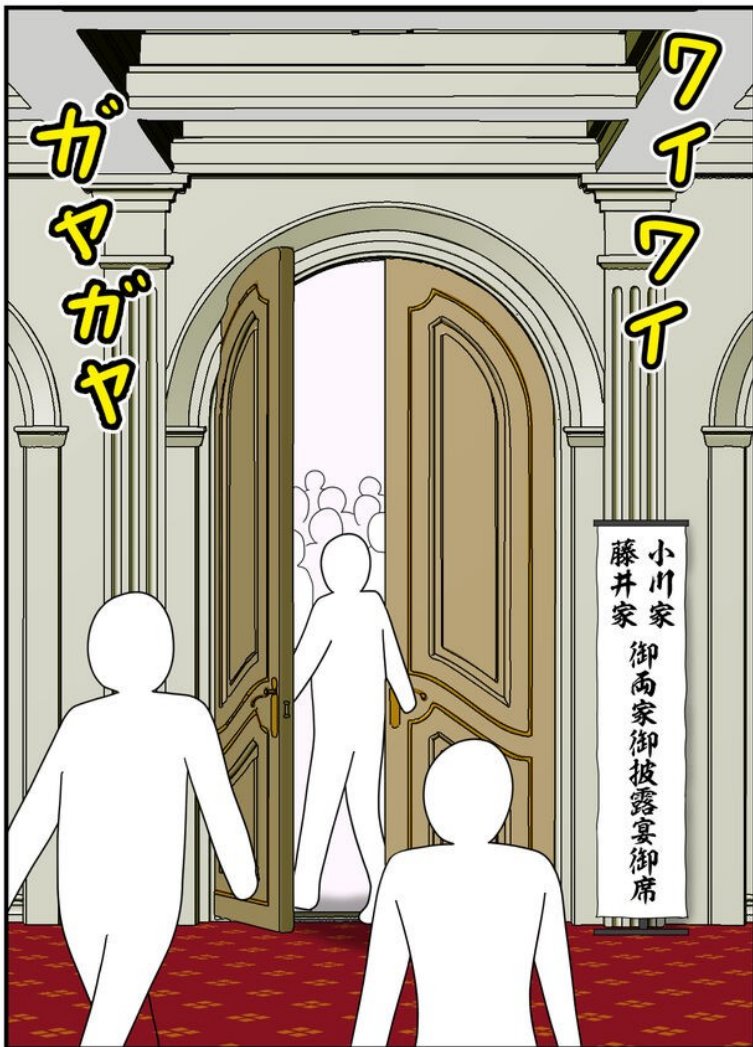




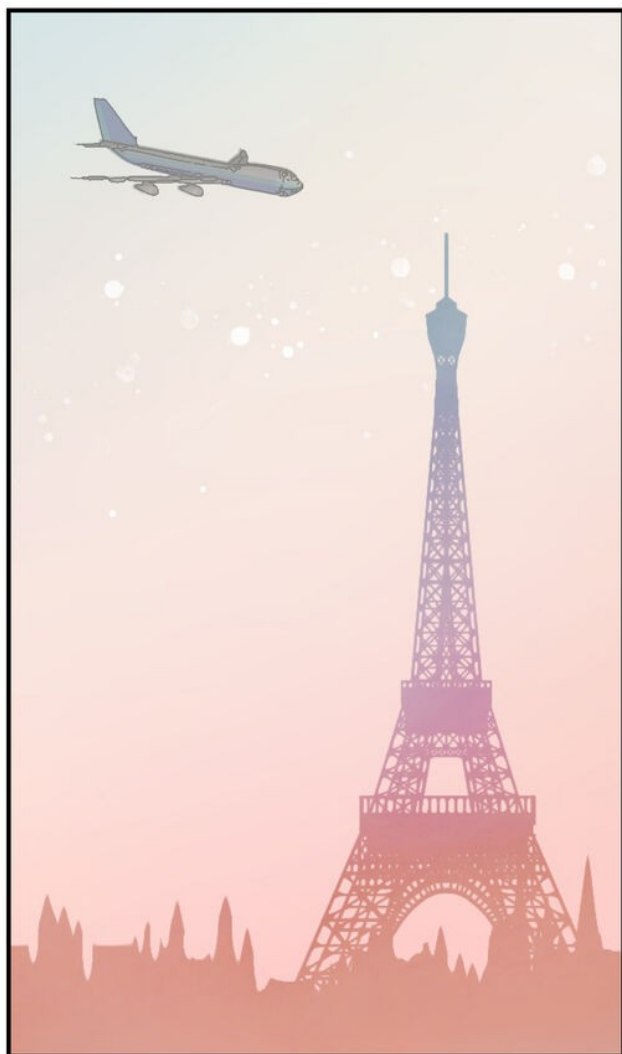
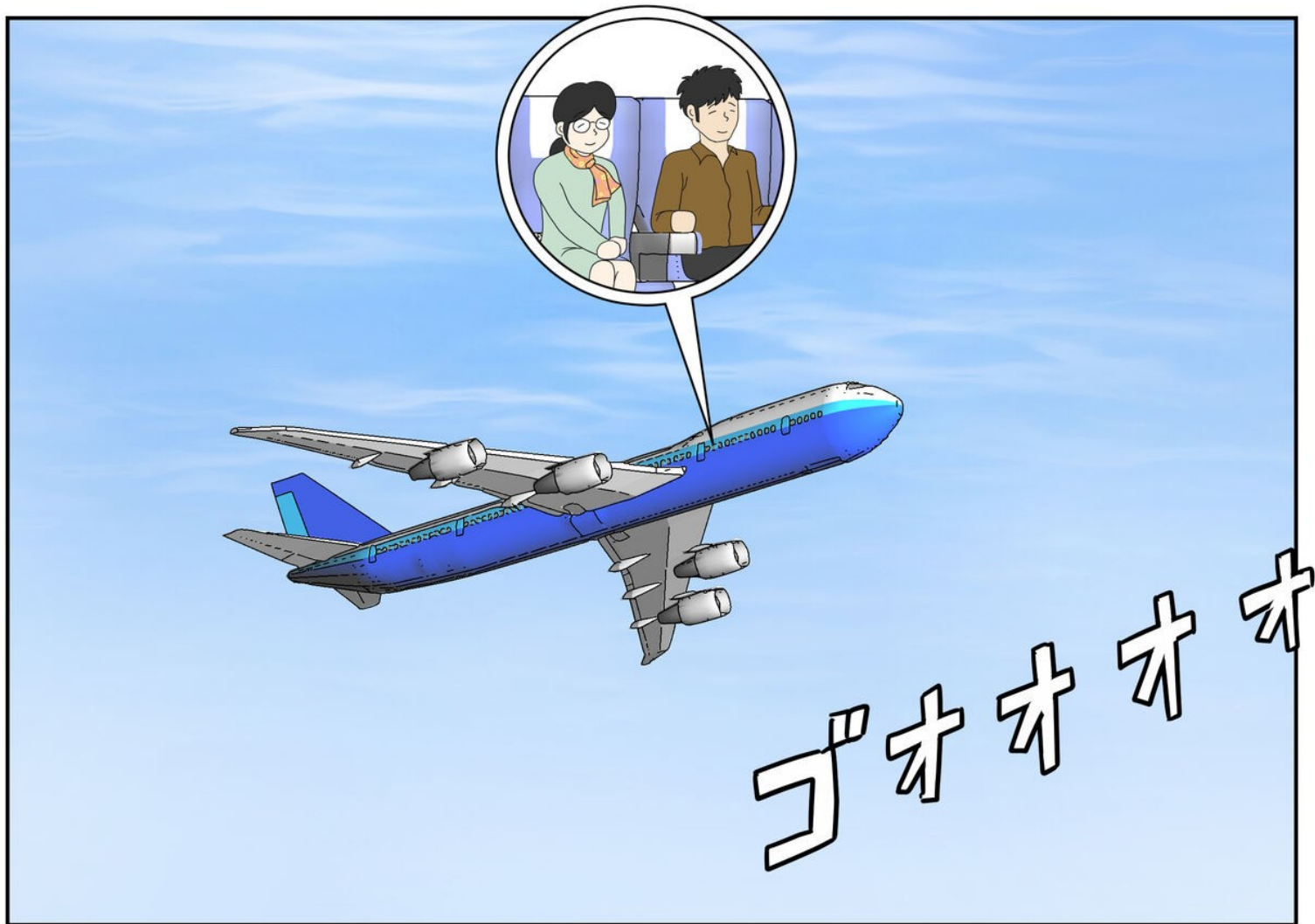


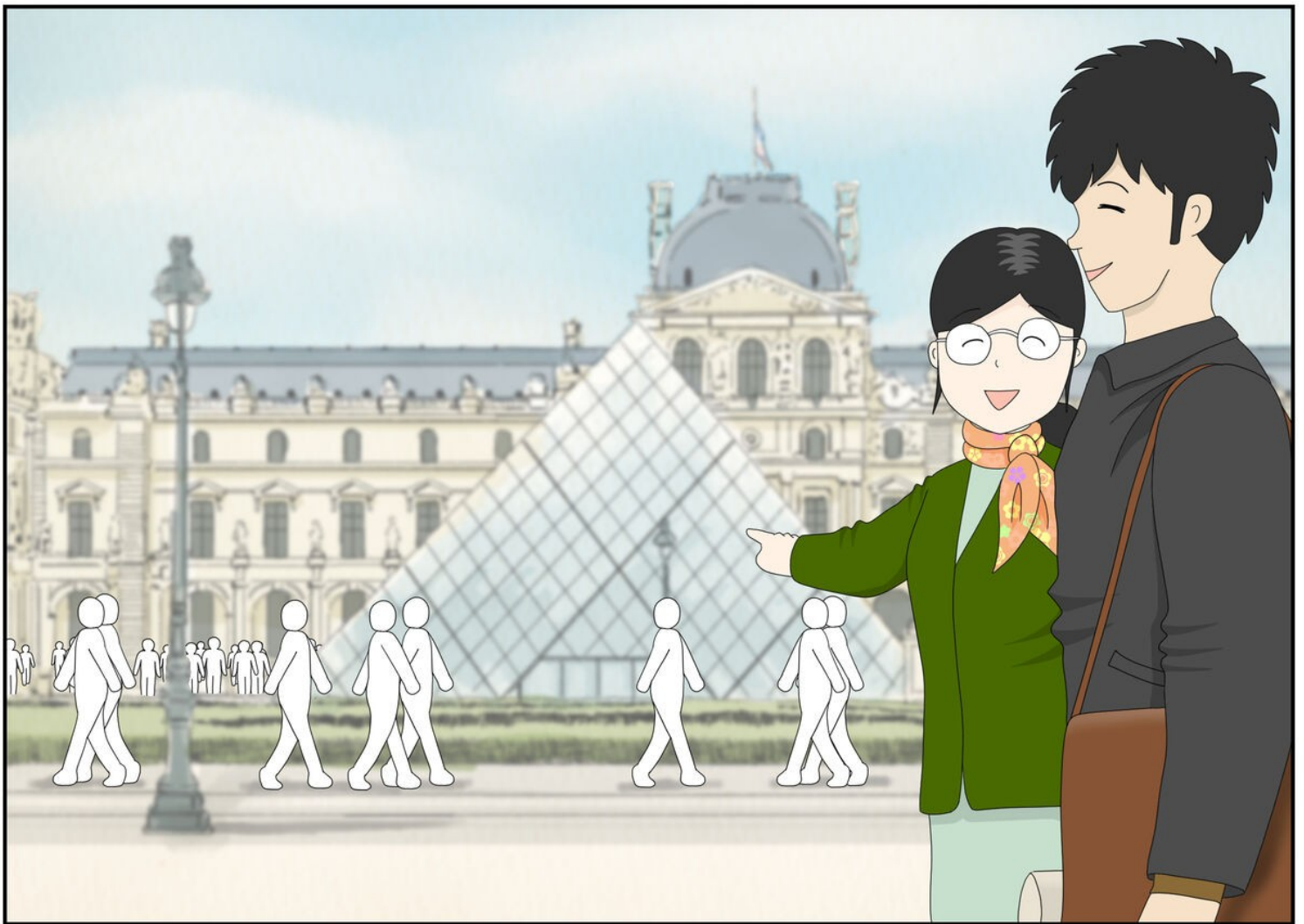


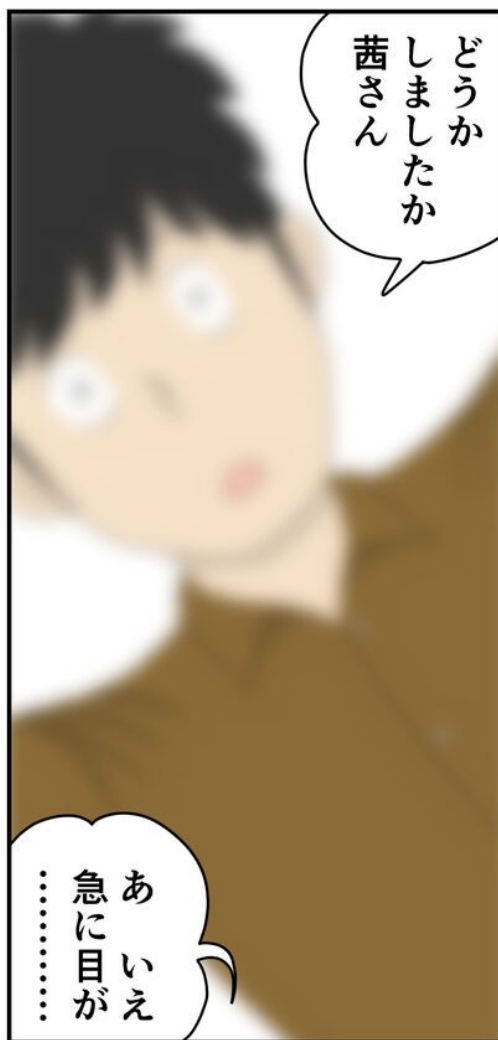
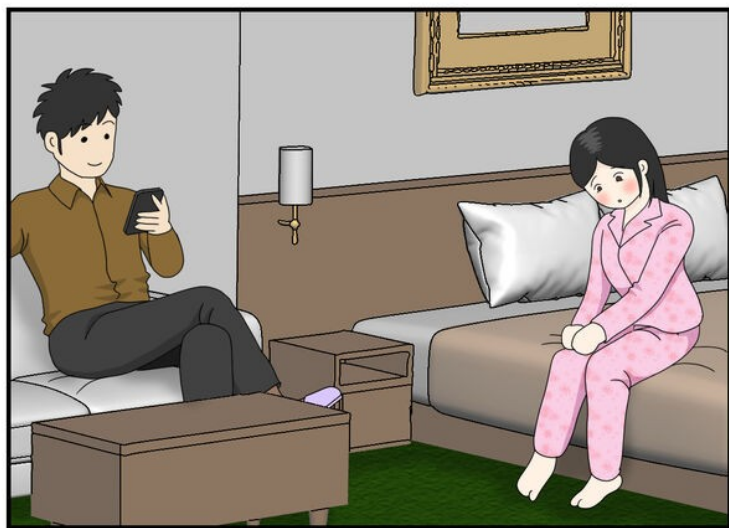


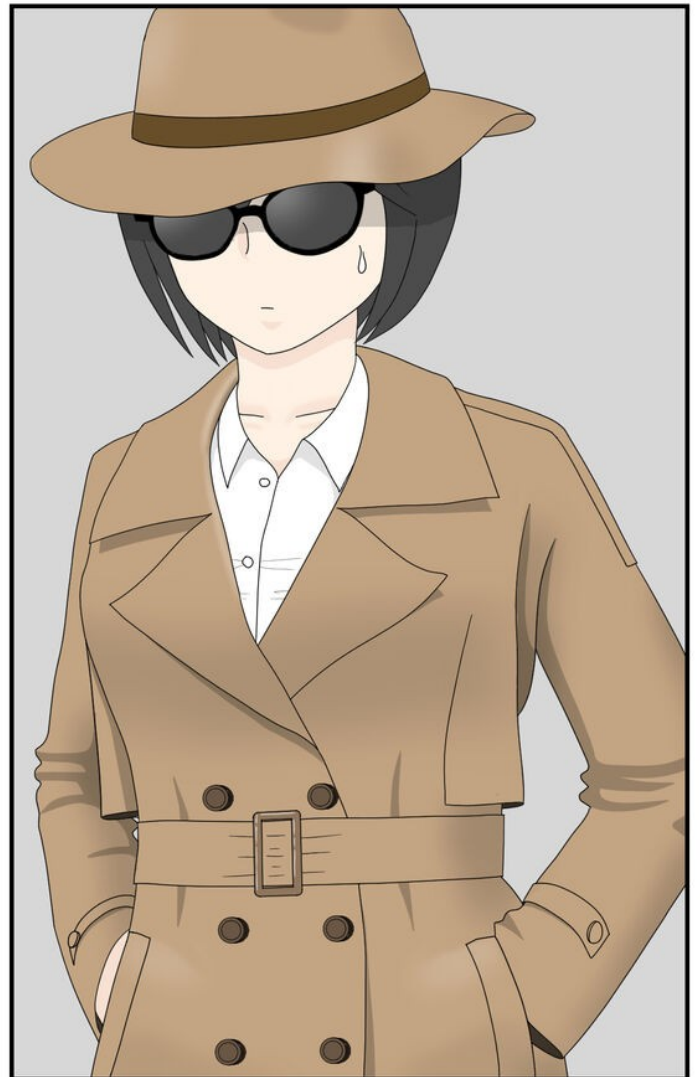
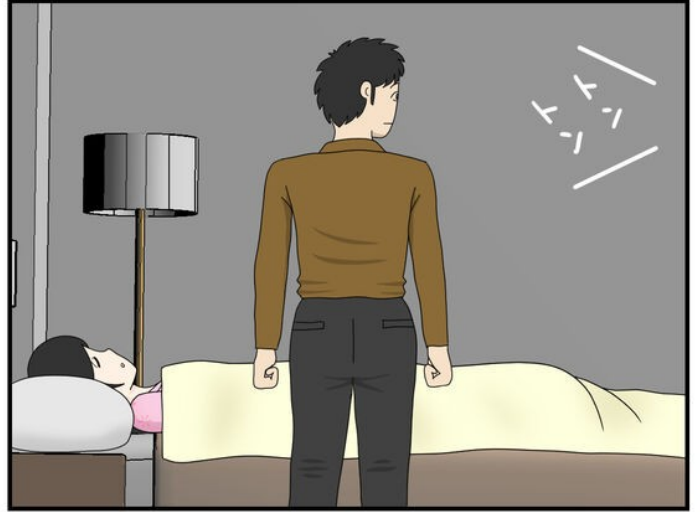
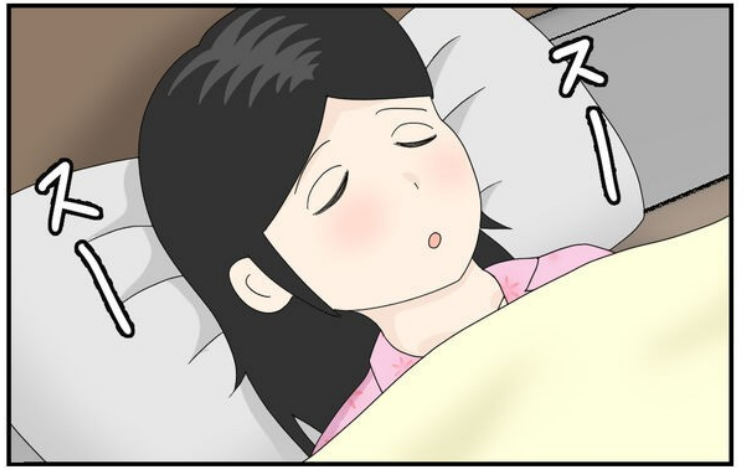


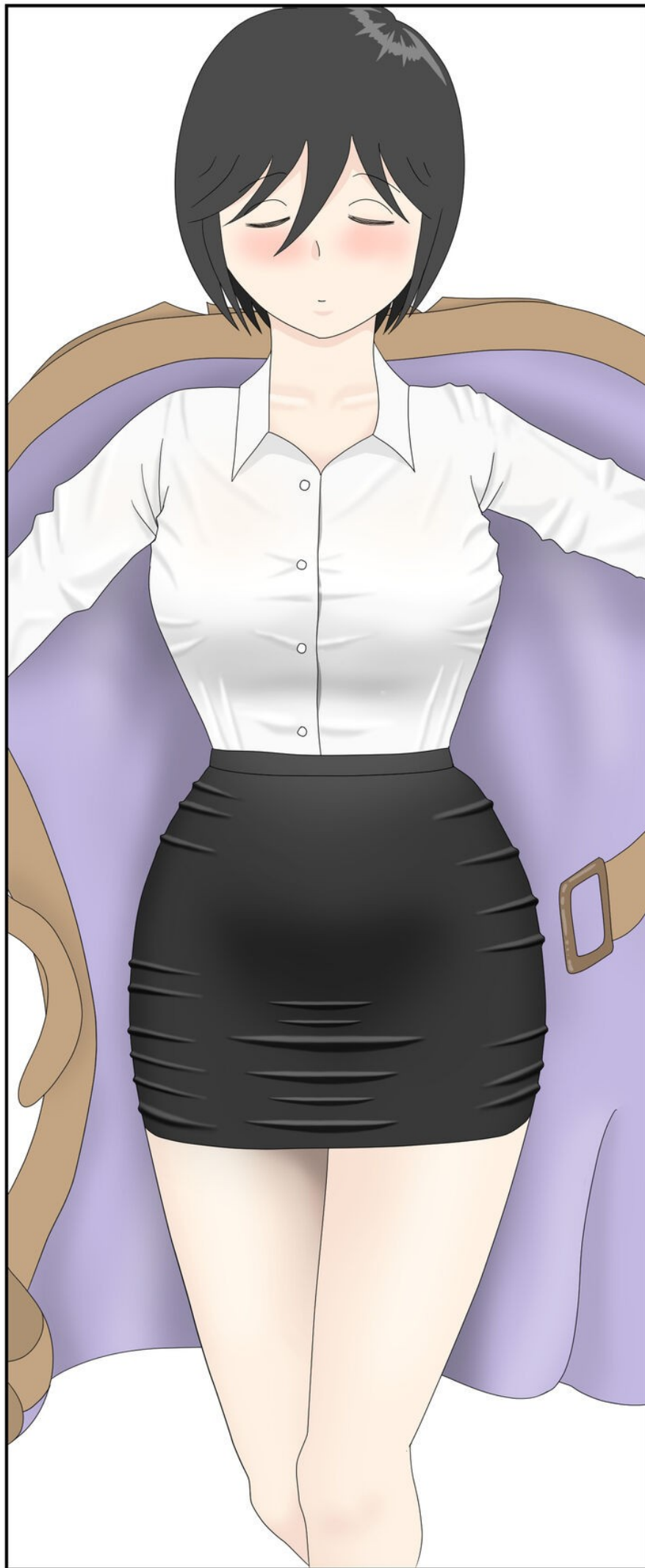
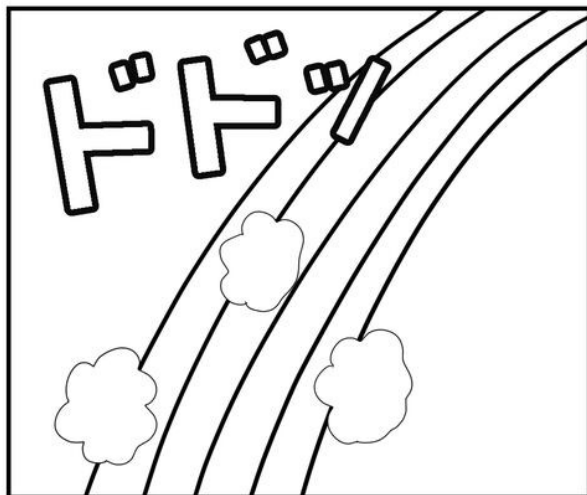
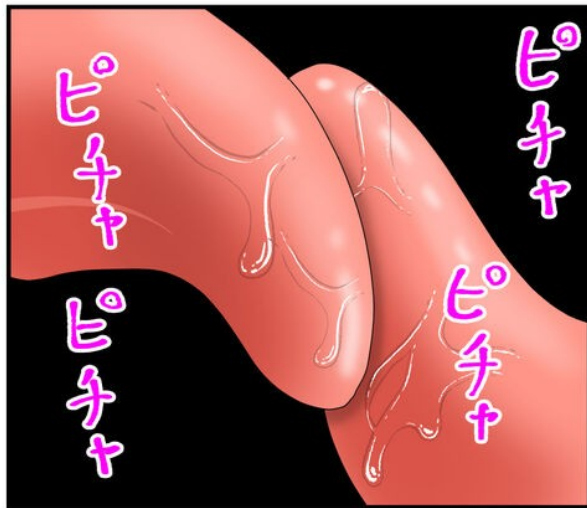


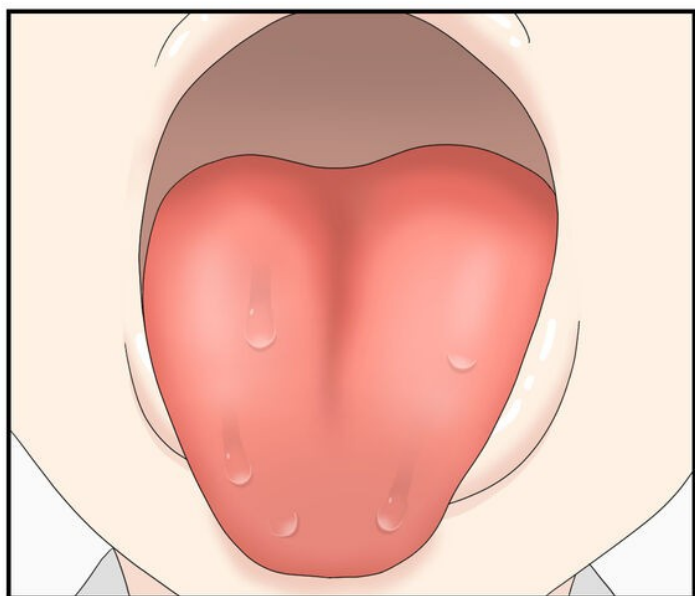


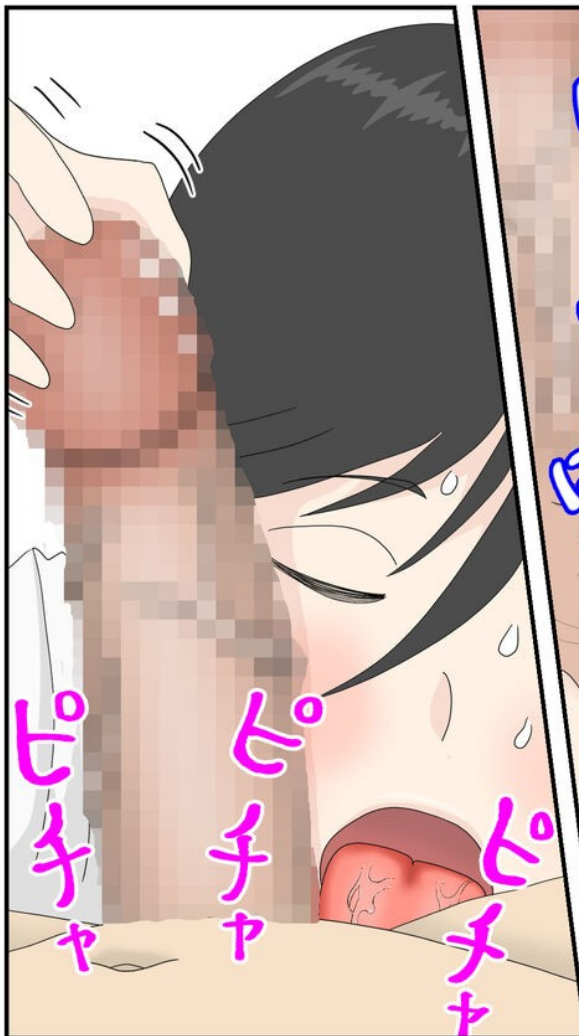
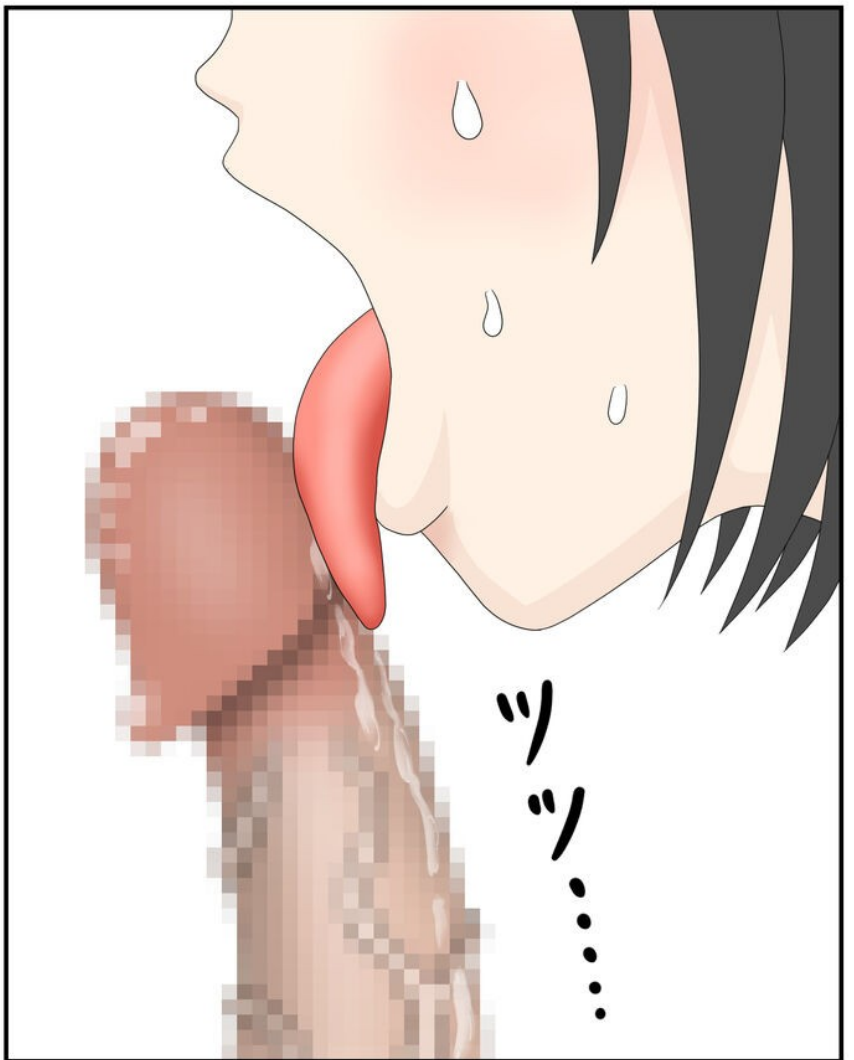
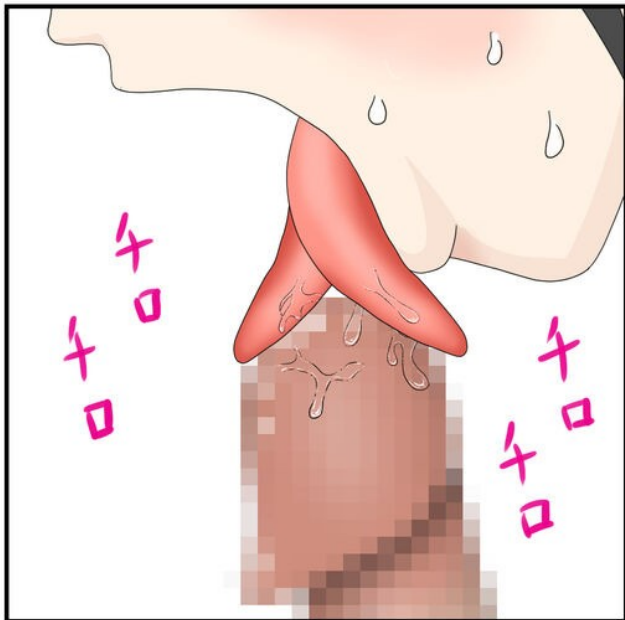


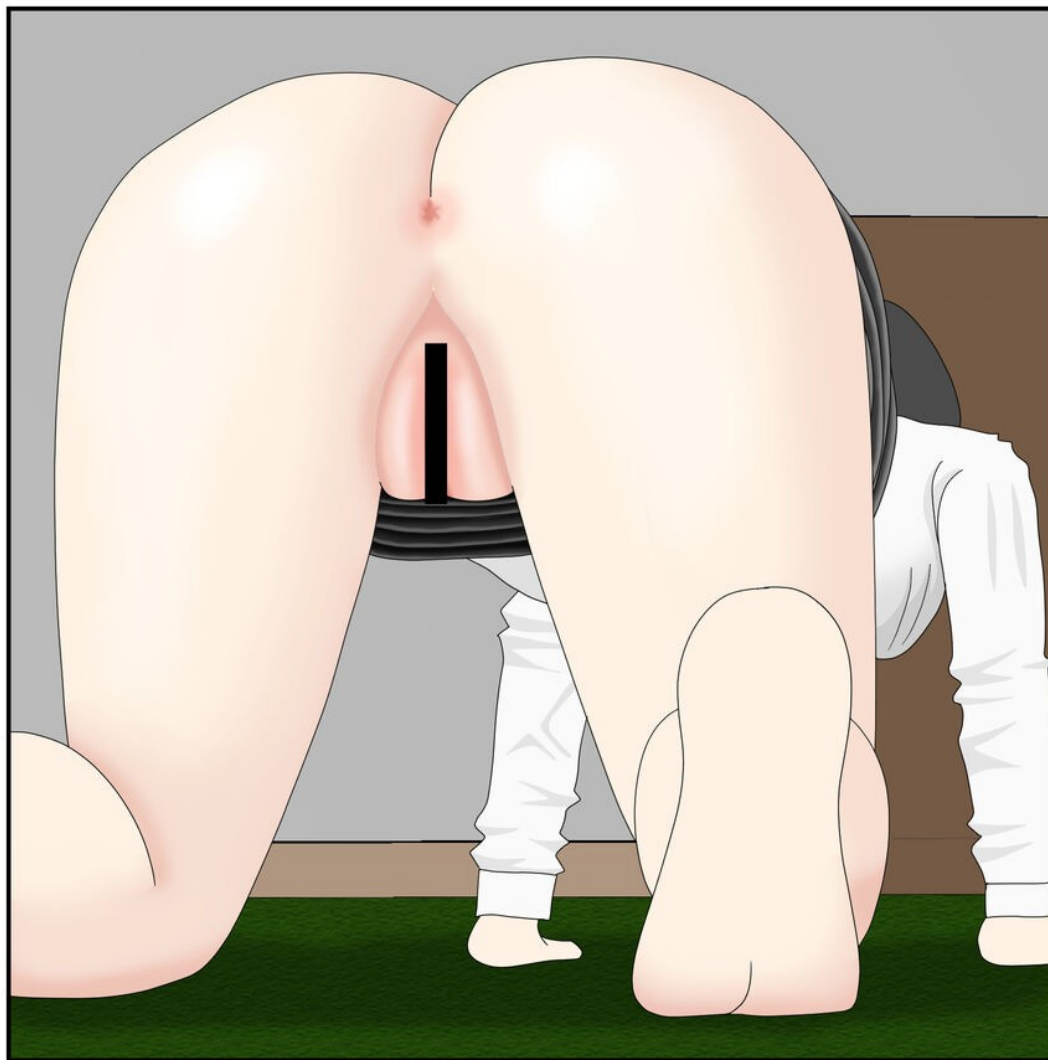


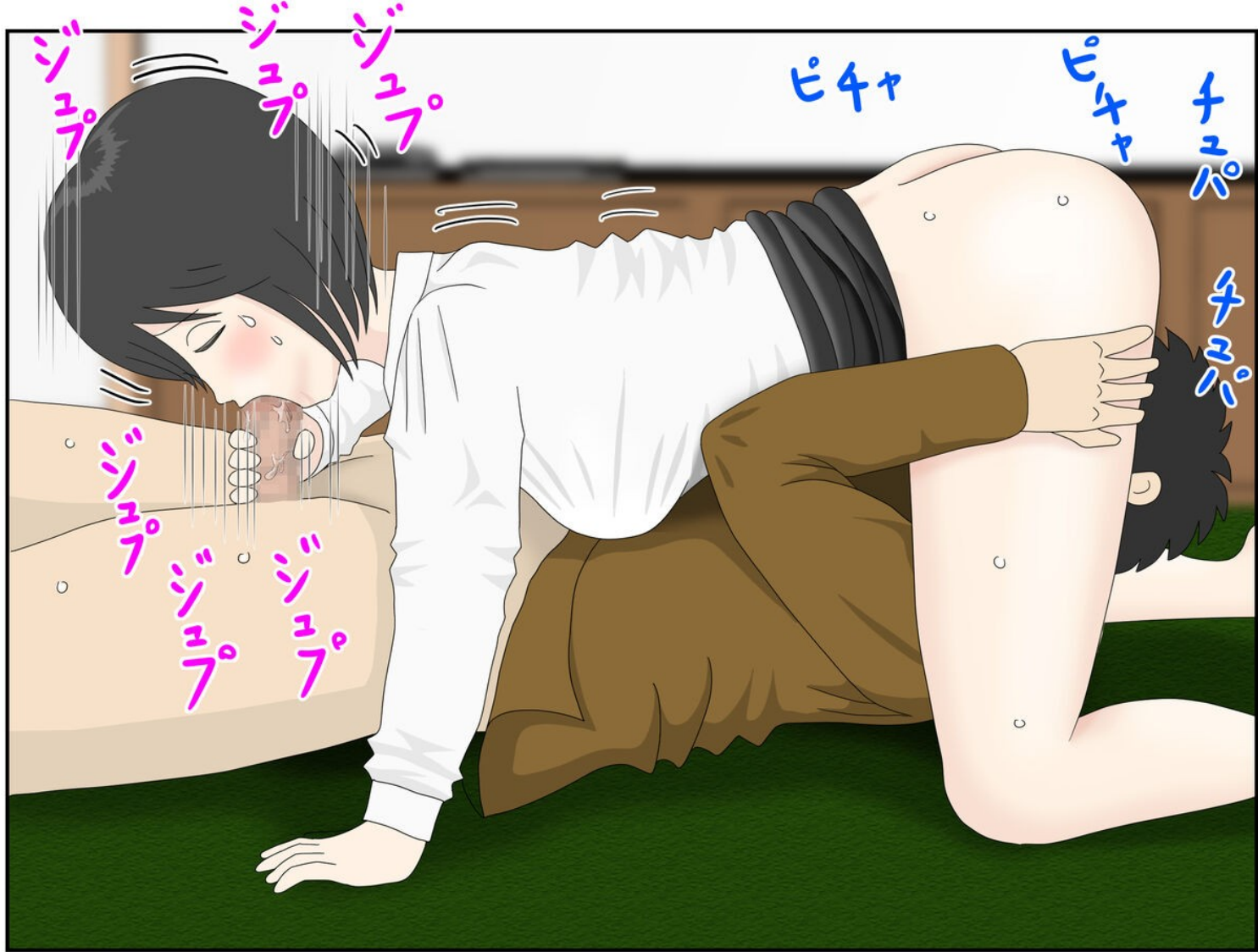


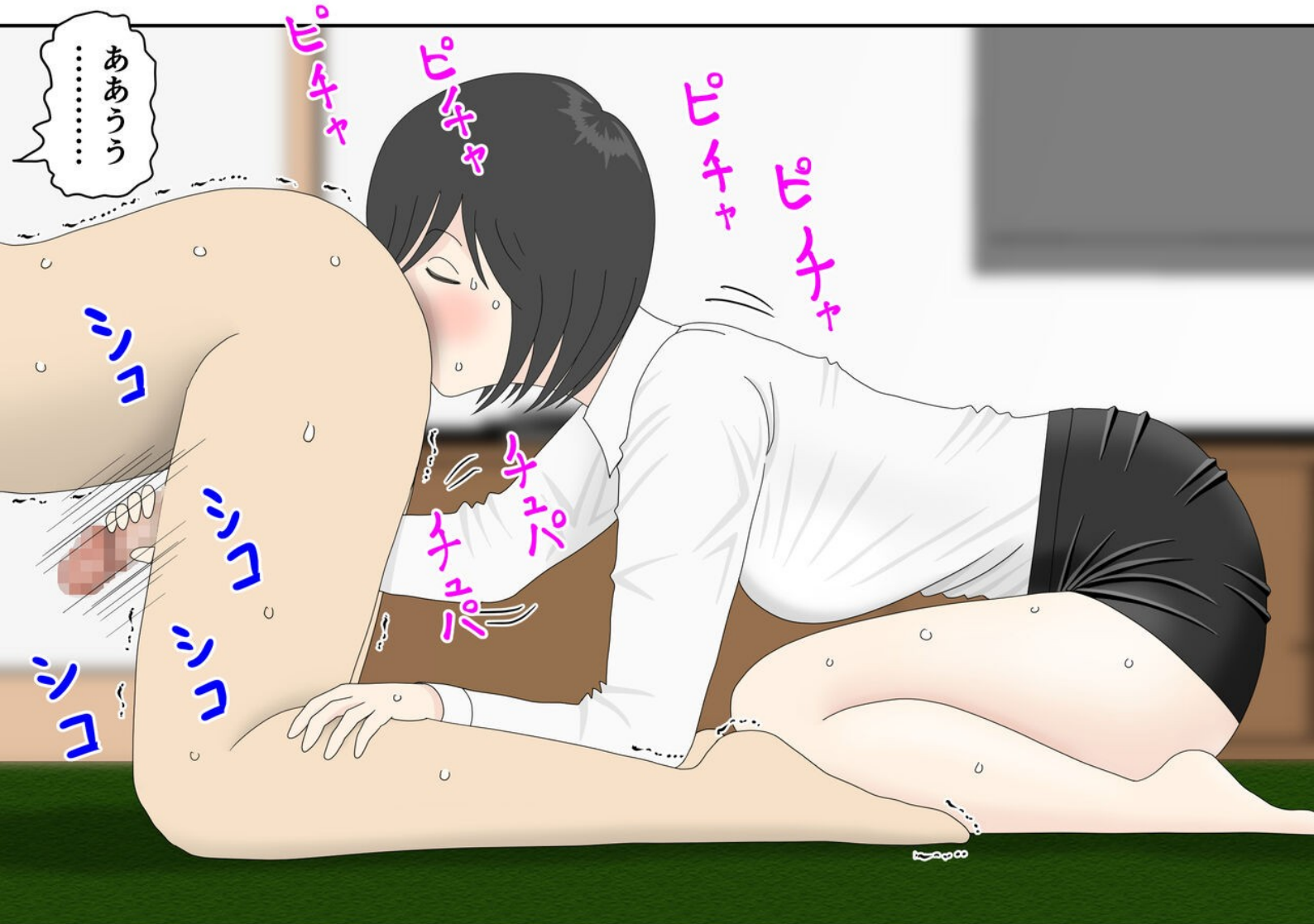
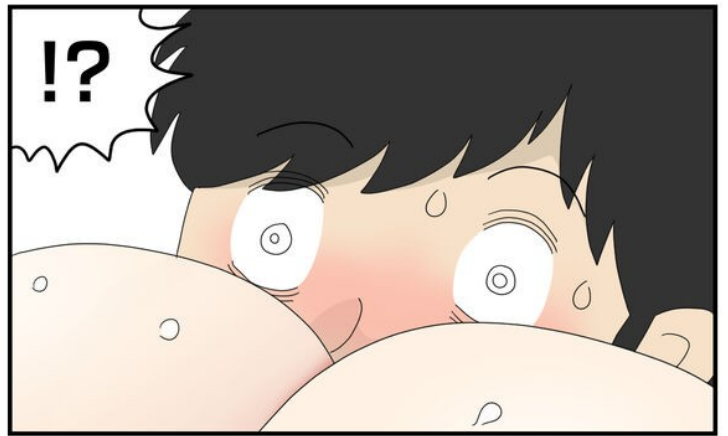
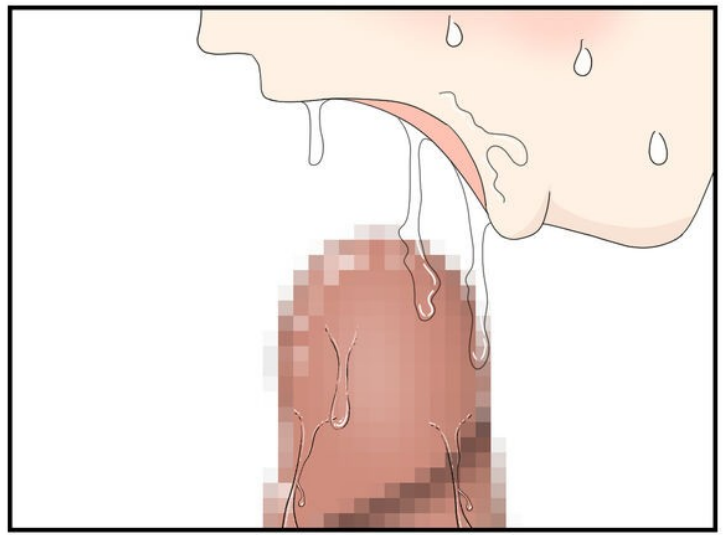


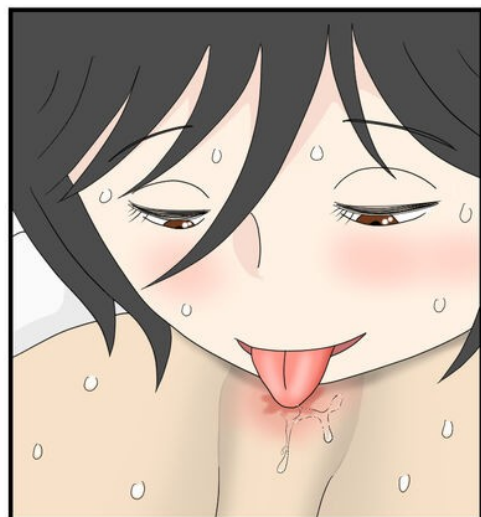
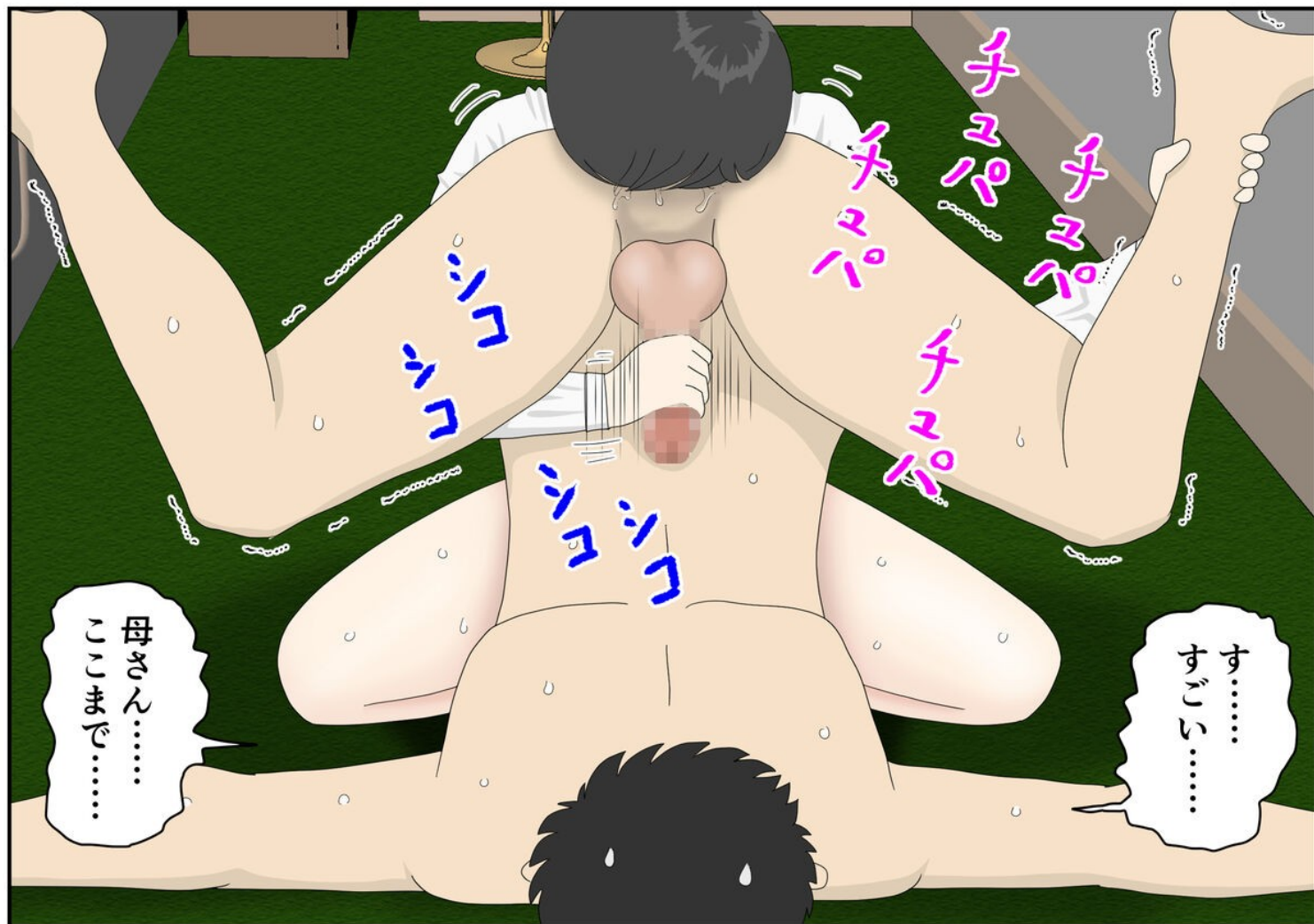


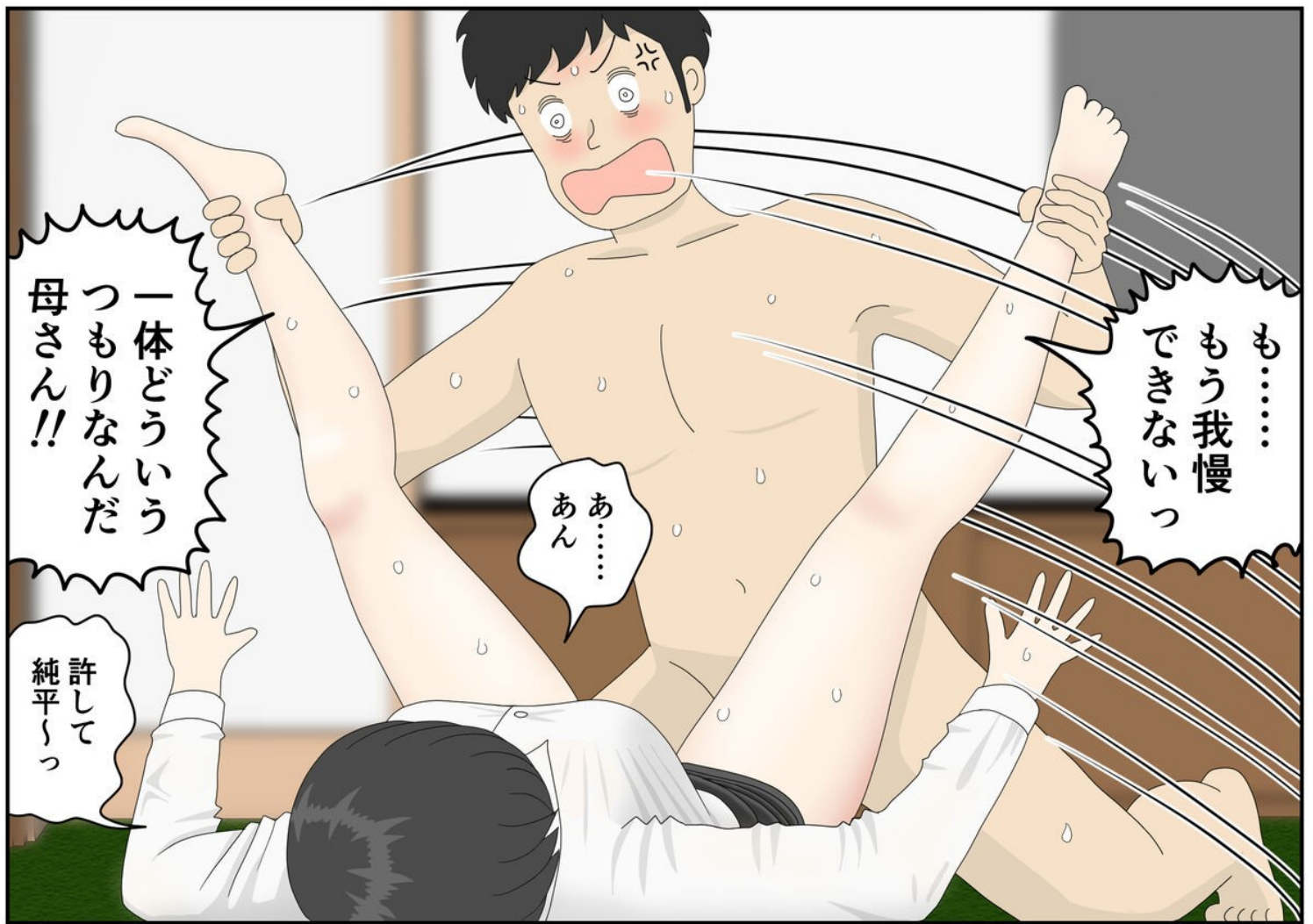












そ……そうよ
私はダメな母親

息子に少しでも
早く抱かれたくて
日本からここまで
ノーパンで来たのよ
……!!

ドピュッ

ドピュッ
ドピュッ

